

FutureNet NXRシリーズ ユーザーズガイド GUI編

Ver.5.24.1E 対応版



目次

はじめに	5
第1章 本装置の概要	6
. 本装置の特長	7
. 各部の名称と機能 (NXR-120/C)	8
. 各部の名称と機能 (NXR-125/CX)	10
. 各部の名称と機能 (NXR-130/C: ISDN ポートなし)	12
. 各部の名称と機能 (NXR-130/C: ISDN ポートあり)	14
. 各部の名称と機能 (NXR-155/C-WM)	16
. 各部の名称と機能 (NXR-155/C-XW)	18
. 各部の名称と機能 (NXR-230/C)	20
. 各部の名称と機能 (NXR-350/C)	22
. 各部の名称と機能 (NXR-1200)	24
XI . 動作環境	26
第2章 装置の設置	27
. 装置の設置に関する注意点	28
. 装置の設置 (NXR-120/C)	29
. 装置の設置 (NXR-125/CX)	30
. 装置の設置 (NXR-130/C)	31
. 装置の設置 (NXR-155/C-WM)	32
. 装置の設置 (NXR-155/C-XW)	33
. 装置の設置 (NXR-230/C)	34
. 装置の設置 (NXR-350/C)	35
. 装置の設置 (NXR-1200)	36
第3章 コンピュータのネットワーク設定	37
. Windows XP のネットワーク設定	38
. Windows Vista のネットワーク設定	39
. Windows 7 のネットワーク設定	40
. Macintosh のネットワーク設定	41
第4章 本装置へのログイン	42
. 本装置の GUI へのログイン	43
. 本装置の CLI へのログイン	44
. HTTP サーバの起動	48
. GUI で設定可能な項目	49
第5章 インタフェース設定	50
. Ethernet I/F	51
1. Ethernet	51
. PPP I/F	54
1. PPP アカウント	54
2. PPPoE	59

第6章 ネットワーク	60
. IPv4	61
1. スタティックルート	61
2. 固定ARP	62
. DHCP	63
1. DHCP ネットワーク	63
2. DHCP ホスト	66
3. DHCP リレー	66
DNS	67
DNS	67
WarpLink	68
WarpLink	68
NTP	69
NTP	69
第7章 VPN	70
IPsec	71
1. IPsec トンネル	71
2. IPsec 全体設定	78
第8章 ファイアウォール	79
アクセスリスト	80
1. IPv4 アクセスリスト	80
第9章 ユーザインタフェース	82
. SSH	83
1. SSH サービス	83
2. SSH 鍵(netconf)	83
. NETCONF	84
1. NETCONF	84
. CRP	85
1. CRP グローバル	85
2. CRP クライアント	87
第10章 システム設定	88
システム設定	89
本装置のパスワード	89
ホスト名	89
. ログ	90
1. システムログ	90
2. ログメール	91
. 設定情報	92
1. 設定の保存	92
2. 設定の復帰	92
3. 設定のリセット	93
. ファームウェア	94
1. アップデート	94
内蔵時計	95
再起動	95

セッション数	96
第 11 章 運用機能	97
. ネットワーク診断	98
1. Ping	98
2. Traceroute	98
. パケットダンプ	99
1. 実行	99
2. 結果表示	100
. ログ情報	101
1. システムログ	101
. システム情報	102
1. システム情報	102
2. システムモニター	102
サポート情報	103
テクニカルサポート	103
サポート情報	103
付録 サポートについて	104
サポートについて	105

はじめに

ご注意

- 1 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害などの純粹経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 2 通信情報が漏洩した事による経済的、精神的損害につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 3 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写することを禁じます。
- 4 本書およびソフトウェア、ハードウェア、外観の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 5 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

商標の表示

「FutureNet」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。

下記製品名等は米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista

下記製品名等は米国Apple Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS X

その他、本書で使用する各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

第1章

本装置の概要

第1章 本装置の概要

. 本装置の特長

FutureNet NXRシリーズの「製品概要」、「製品の特徴」、「仕様」、「利用例」、「オプション」等については、弊社のWebサイトを参照してください。

FutureNet NXR-120/C

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr120c.html>

FutureNet NXR-125/CX

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr125cx.html>

FutureNet NXR-130/C

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr130c.html>

FutureNet NXR-155/C-WM

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr155cwm.html>

FutureNet NXR-155/C-XW

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr155cxw.html>

FutureNet NXR-230/C

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr230c.html>

FutureNet NXR-350/C

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr350c.html>

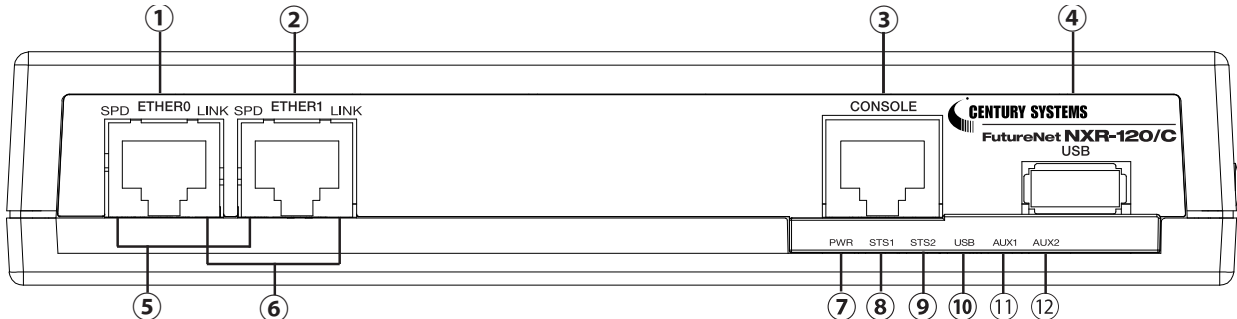
FutureNet NXR-1200

<http://www.centurysys.co.jp/router/nxr1200.html>

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-120/C)

製品前面 (NXR-120/C)



ETHER 0 ポート

主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

主に WAN 側ポートとして使用します。

CONSOLE ポート

CLI 接続の場合に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

USB ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信モジュールを挿入します。

SPD LED(緑 / 橙)

ETHERNET ポートの接続速度を示します。

10BASE-T モードで接続時	: ■
100BASE-TX モードで接続時	: ■
1000BASE-T モードで接続時	: ■

LINK LED(緑)

ETHER ポートの状態を示します。

Link Down 時	: ■
Link UP 時	: ■
データ通信時	: ■

PWR LED(青)

本装置の電源状態を示します。

電源投入時	: ■
-------	-----

STS1 LED(赤)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。

システム起動中	: ■
システム起動完了状態	: ■
ファームウェアのアップデート作業中	: ■

STS2 LED(緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

システム起動中	: ■
サービス起動中	: ■
サービス起動完了状態	: ■

ステータス LED が以下の状態になると、本装置へのアクセスが可能になります。

STS1 LED	: ■
STS2 LED	: ■

USB LED(緑)

USB ステータスを示します。

USB デバイス装着時	: ■
USB デバイス未装着時	: ■

AUX1 LED(緑)

AUX2 LED(緑)

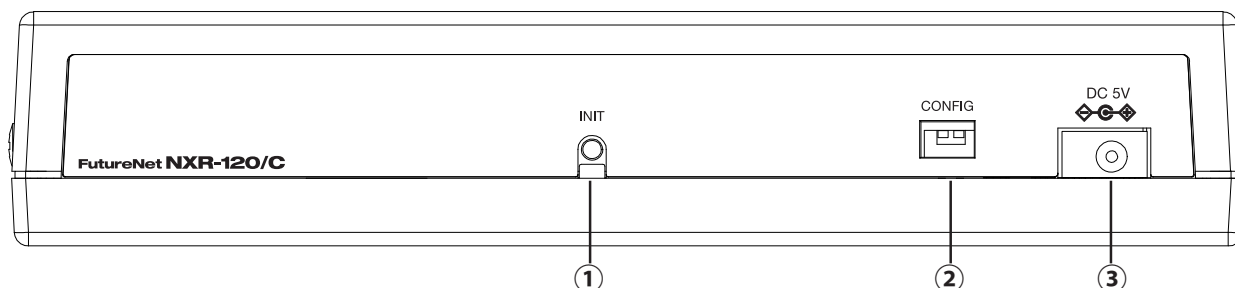
データ通信端末装着時に、電波状況を表示します。
電波状況の取得周期の設定等については、ユーザーガイド CLI 編を参照してください。

	AUX1	AUX2
データ通信端末未装着時:	■	■
圏外(およびunknown) :	■	■
圏内 Signal Level 1 :	■	■
Signal Level 2 :	■	■
Signal Level 3 :	■	■

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-120/C)

製品背面 (NXR-120/C)



INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

1. INITボタンを押しながら電源を投入します。
2. STS1 LED が下記の状態になるまで、INIT ボタンを押したままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. STS1 LED が再度点灯したら、INIT ボタンを放します。STS1 LED が消灯し、本装置が工場出荷設定で起動します。

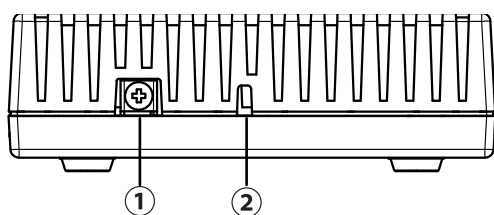
CONFIG

本製品では使用しません。両方のスイッチが下に位置している状態で使用してください。

DC 5V 電源コネクタ

製品付属の AC アダプタを接続します。

製品側面 (NXR-120/C)



FG 端子

保安用接続端子です。
必ずアース線を接続してください。

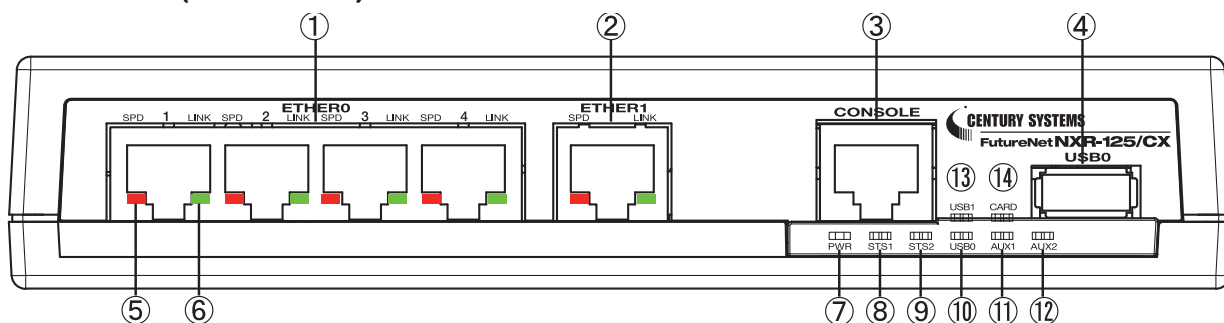
セキュリティスロット

ケンジントンロックに対応しています。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-125/CX)

製品前面 (NXR-125/CX)



ETHER 0 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の 4 ポートハブです。主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の Ethernet ポートです。主に WAN 側ポートとして使用します。

CONSOLE ポート

CLI 接続の際に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

USB0 ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信端末を挿入します。

SPD LED(赤 / 緑)

ETHER ポートの接続速度を示します。

10BASE-T モードで接続時 :
100BASE-TX モードで接続時 :
1000BASE-T モードで接続時 :

LINK LED(緑)

ETHER ポートのリンク状態を示します。

Link Down 時 :
Link UP 時 :


PWR LED(青)

本装置の電源状態を示します。

電源 ON 時 :

STS1 LED(赤 / 緑)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。


電源 ON 時 :
システム起動中 :
ファームウェア更新中 : 

指定した PPP または tunnel の状態を示します (設定は、第 6 章 global node の system led を参照)。

接続時 :
切断状態時 :

STS2 LED(緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

電源 ON 時 :
システム起動中 : 
システム起動後 (ログイン可能状態) :
:

USB0 LED(緑)

USB デバイス 0 のステータスを示します。

USB デバイス 0 の接続時 :
USB デバイス 0 の未接続時 :

AUX1 LED(緑) / AUX2 LED(緑)

データ通信端末未装着時に、電波状況を表示します (設定は、第 6 章 global node の system led を参照)。

AUX1 AUX2
データ通信端末未装着時 :
圏外 (および unknown) :
圏内 Signal Level 0-1 :
Signal Level 2 :
Signal Level 3 :

指定した PPP または tunnel の状態を示します。

接続時 :
切断状態時 :

USB1 LED(緑)

USB デバイス 1 のステータスを示します。

USB デバイス 1 の接続時 :
USB デバイス 1 の未接続時 :

CARD LED

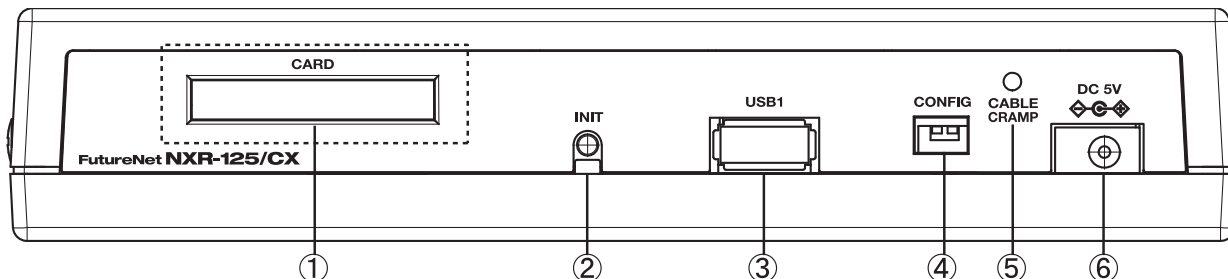
カードのステータスを表示します。

カードの接続時 :
カードの未接続時 :

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-125/CX)

製品背面 (NXR-125/CX)



CARD スロット

対応するカードを接続します。
カードを使用しない場合は、異物や埃の混入を防ぐために、同梱のシールを図の点線枠の部分に貼って、CARD スロットを塞いでください。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

USB1 ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信端末を挿入します。

CONFIG

本製品では使用しません。両方のスイッチが下に位置している状態で使用してください。

CABLE CRAMP

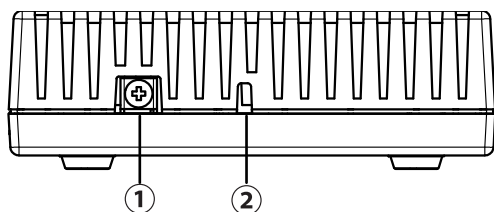
AC アダプタのケーブルが不意に引っ張られても、DC プラグが抜けないようにすることが出来ます。クリップでケーブルを挟み、クリップと本装置をネジで固定します。



DC 5V 電源コネクタ

製品付属の AC アダプタを接続します。

製品側面 (NXR-125/CX)



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。
必ずアース線を接続してください。

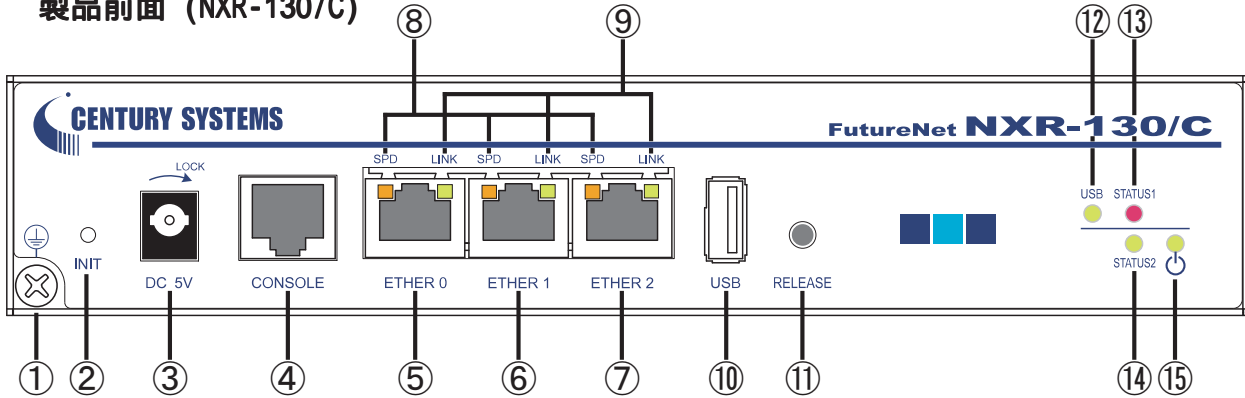
セキュリティスロット

ケンジントンロックに対応しています。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-130/C: ISDN ポートなし)

製品前面 (NXR-130/C)



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。
必ずアース線を接続してください。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するとき
に使用します。

1. Init ボタンを押しながら電源を投入します。
2. STATUS1 LED が下記の状態になるまで、Init ボタンを押ししたままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. STATUS1 LED が再度点灯したら、Init ボタンを放します。STATUS1 LED が消灯し、本装置が工場出荷設定で起動します。

DC5V 電源コネクタ (ロック機構付き)

製品付属の AC アダプタを接続します。
電源コネクタの溝に、DC プラグのツメを合わせて、
右に回してください。電源コードがロックされます。
電源コードを外す時は、DC プラグ部分を持って左
に戻してから抜いてください。

本装置をご使用の際は必ず、電源コードをロック
してご使用ください。

CONSOLE ポート

CLI 接続の場合に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

ETHER 0 ポート

主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

主に WAN 側ポートとして使用します。

ETHER 2 ポート

主に DMZ ポートとして使用します。

本装置の各ETHERポートは、全てGigabit Ethernet
に対応しています。別セグメントを接続するポ
ートとして使用可能です。
また、ポートはAuto-MDI/MDIX対応です。
Ethernet規格のLANケーブルを接続してください。

SPEED LED (緑 / 橙)

ETHERNET ポートの接続速度を表示します。

- 10BASE-T モードで接続時 : ■
- 100BASE-TX モードで接続時 : ■
- 1000BASE-T モードで接続時 : ■

LINK/ACT LED (緑)

ETHERNET ポートの接続状態を表示します。

- Link Down 時 : ■
- Link UP 時 : ■
- データ通信時 : ■

USB ポート

USB Flash メモリ、またはUSB タイプのデータ通
信モジュールを挿入します。

第1章 本装置の概要

・各部の名称と機能 (NXR-130/C: ISDN ポートなし)

RELEASE ボタン

USB flashメモリを取り外すときに使用します。
本装置からUSB flashメモリを取り外すときは、以下の手順で操作してください。

1. RELEASE ボタンの長押し(約3秒)
2. USB LEDの消灯を確認
3. USB flashメモリの取り外し

USB LED (緑)

USB ステータスを表示します。

- USB デバイス装着時 : ●
USB デバイス未装着時 : ●

STATUS1 LED (赤)

本装置のシステム起動時のステータスを表示します。

- システム起動中 : ●
システム起動完了状態 : ●
ファームウェアのアップデート作業中 : ☀

これら以外の状態で、STATUS1 が点滅している時はシステム異常が起きておりますので、弊社までご連絡ください。

STATUS2 LED (緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを表示します。

- システム起動中 : ●
サービス起動中 : ☀
サービス起動完了状態 : ●

STATUS LED が以下の状態になると、本装置へのアクセスが可能になります。

- STATUS1 LED : ●
STATUS2 LED : ●

POWER LED (緑)

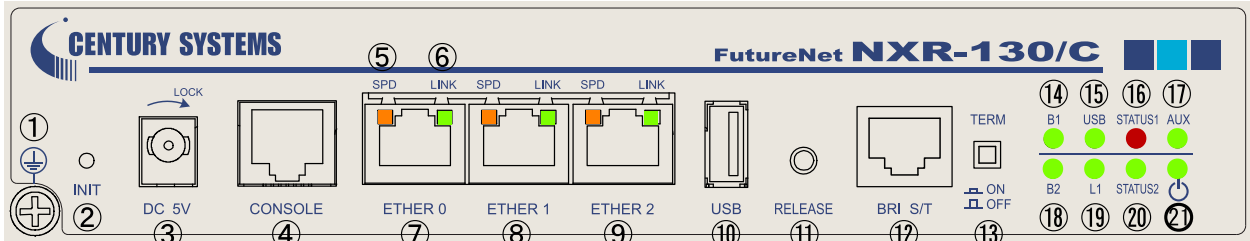
本装置の電源状態を表示します。

- 電源投入時 : ●

第1章 本装置の概要

・各部の名称と機能 (NXR-130/C: ISDN ポートあり)

製品前面



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。
必ずアース線を接続してください。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

1. Init ボタンを押しながら電源を投入します。
2. STATUS1 LED が下記の状態になるまで、Init ボタンを押したままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. STATUS1 LED が再度点灯したら、Init ボタンを放します。STATUS1 LED が消灯し、本装置が工場出荷設定で起動します。

DC5V 電源コネクタ (ロック機構付き)

製品付属の AC アダプタを接続します。
電源コネクタの溝に、DC プラグのツメを合わせて、右に回してください。電源コードがロックされます。電源コードを外す時は、DC プラグ部分を持って左に戻してから抜いてください。

本装置をご使用の際は必ず、電源コードをロックしてご使用ください。

CONSOLE ポート

CLI 接続の場合に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

SPD LED (/)

ETHERNET ポートの接続速度を表示します。
10BASE-T モードで接続時 :
100BASE-TX モードで接続時 :
1000BASE-T モードで接続時 :

LINK LED (緑)

ETHERNET ポートの接続状態を表示します。
Link Down 時 :
Link UP 時 :
データ通信時 : / (点滅)

ETHER 0 ポート

主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

主に WAN 側ポートとして使用します。

ETHER 2 ポート

主に DMZ ポートとして使用します。

本装置の各ETHERポートは、全てGigabit Ethernetに対応しています。別セグメントを接続するポートとして使用可能です。

また、ポートはAutoMDI/MDI-X対応です。Ethernet規格のLANケーブルを接続してください。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-130/C: ISDN ポートあり)

USB ポート

USB Flash メモリ、またはUSB タイプのデータ通信モジュールを挿入します。

RELEASE ボタン

USB flashメモリを取り外すときに使用します。本装置からUSB flashメモリを取り外すときは、以下の手順で操作してください。

1. RELEASE ボタンの長押し(約3秒)
2. USB LED の消灯を確認
3. USB flashメモリの取り外し

ISDN BRI S/T点(RJ-45)

このポートと外部DSUをISDNケーブルで接続します。

S/T点終端抵抗ON/OFFスイッチ

「ISDN S/T点ポート」接続時の終端抵抗のON/OFFを切り替えます。

外部DSUを接続している場合は、本装置を含めていずれか1つの機器の終端抵抗をONにしてください。

B1 LED ()

B2 LED ()

ISDN回線交換モードの場合

接続時 (64kbps)	:	B1 () B2 ()
接続時 (128kbps)	:	B1 () B2 ()
切断時	:	B1 () B2 ()

専用線モードの場合

回線の接続状態に関わらず、設定により点灯します。

設定時 (64kbps)	:	B1 () B2 ()
設定時 (128kbps)	:	B1 () B2 ()

USB LED ()

USBステータスを表示します。

USB flashメモリ装着時	:
USB flashメモリ未装着時	:

STATUS1 LED ()

本装置のシステム起動時のステータスを表示します。

システム起動中	:
システム起動完了状態	:
ファームウェアのアップデート作業中	:
	/ (点滅)

これら以外の状態で、STATUS1が点滅している時はシステム異常が起きていますので、弊社までご連絡ください。

AUX LED ()

本装置では使用しません。

L1 LED ()

本装置のISDN BRI S/T点ポートがリンクアップしているときに点灯します。

STATUS2 LED ()

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを表示します。

システム起動中	:
サービス起動中	:
サービス起動完了状態	:
	/ (点滅)

STATUS LEDが以下の状態になると、本装置へのアクセスが可能になります。

STATUS1 LED	:
STATUS2 LED	:

21 POWER LED ()

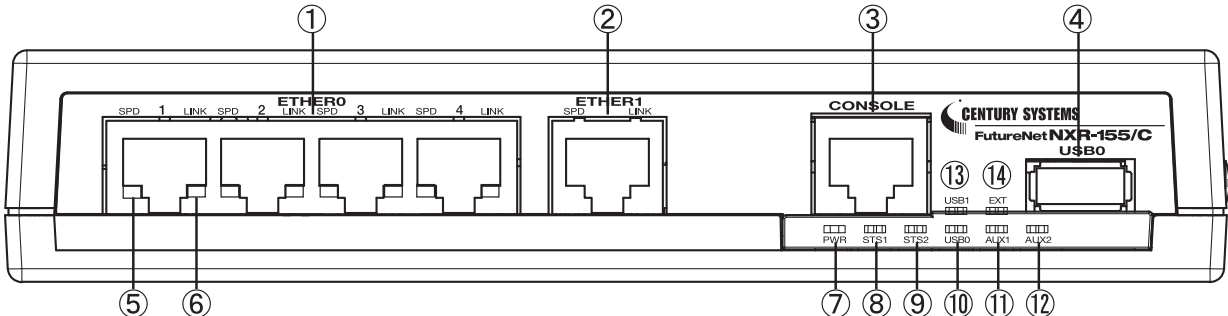
本装置の電源状態を表示します。

電源投入時	:
-------	---

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-155/C-WM)

製品前面 (NXR-155/C-WM)



ETHER 0 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の 4 ポートハブです。主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の Ethernet ポートです。主に WAN 側ポートとして使用します。

CONSOLE ポート

CLI 接続の際に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

USB0 ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信端末を挿入します。

SPD LED(赤 / 緑)

ETHER ポートの接続速度を示します。
10BASE-T モードで接続時 :
100BASE-TX モードで接続時:
1000BASE-T モードで接続時:

LINK LED(緑)

ETHER ポートのリンク状態を示します。
Link Down 時 :
Link UP 時 :

PWR LED(青)

本装置の電源状態を示します。
電源 ON 時 :

STS1 LED(赤 / 緑)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。
電源 ON 時 :
システム起動中 :
ファームウェア更新中 : * (点滅)

指定した PPP または tunnel の状態を示します (設定は、第 6 章 global node の system led を参照)。

接続時 :
切断状態時 :

STS2 LED(緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

電源 ON 時 :
システム起動中 : * (点滅)
システム起動後(ログイン可能状態)
:

USB0 LED(緑)

USB デバイス 0 のステータスを示します。
USB デバイス 0 の接続時 :
USB デバイス 0 の未接続時 :

AUX1 LED(緑)/ AUX2 LED(緑)

データ通信端末装着時に、電波状況を表示します (設定は、第 6 章 global node の system led を参照)。

AUX1 AUX2
データ通信端末未装着時 :
圏外 (および unknown) :
圏内 Signal Level 0-1 :
Signal Level 2 :
Signal Level 3 :

指定した PPP または tunnel の状態を示します。

接続時 :
切断状態時 :

USB1 LED(緑)

USB デバイス 1 のステータスを示します。
USB デバイス 1 の接続時 :
USB デバイス 1 の未接続時 :

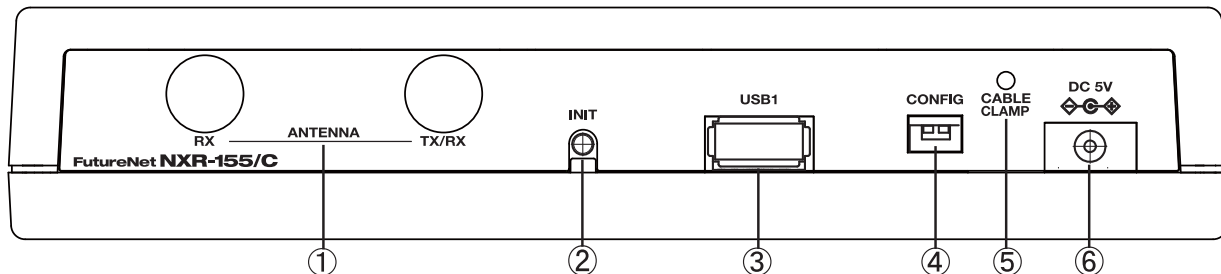
EXT LED

内蔵通信モジュールのステータスを表示します。
通常動作時 :
異常発生時やリセット時 :

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-155/C-WM)

製品背面 (NXR-155/C-WM)



ANTENNA RX, ANTENNA TX/RX

対応するアンテナを装着します。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

USB1 ポート

USB Flash メモリ、またはUSB タイプのデータ通信端末を挿入します。

CONFIG

本製品では使用しません。両方のスイッチが下に位置している状態で使用してください。

CABLE CRAMP

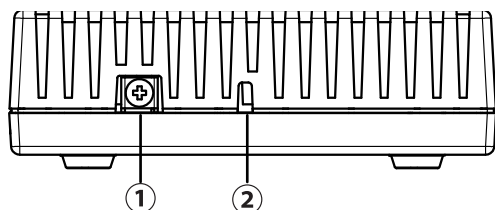
ACアダプタのケーブルが不意に引っ張られても、DCプラグが抜けないようにすることが出来ます。クリップでケーブルを挟み、クリップと本装置をネジで固定します。



DC 5V 電源コネクタ

製品付属のACアダプタを接続します。

製品側面 (NXR-155/C-WM)



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。必ずアース線を接続してください。

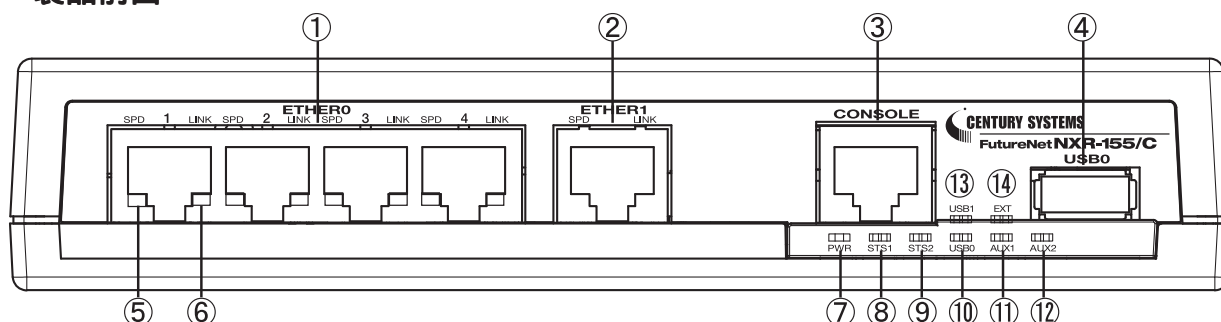
セキュリティスロット

ケンジントンロックに対応しています。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-155/C-XW)

製品前面



ETHER 0 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の 4 ポートハブです。主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の Ethernet ポートです。主に WAN 側ポートとして使用します。

CONSOLE ポート

CLI 接続の際に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

USB0 ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信端末を挿入します。

SPD LED(赤 / 緑)

ETHER ポートの接続速度を示します。

10BASE-T モードで接続時 :
100BASE-TX モードで接続時 :
1000BASE-T モードで接続時 :

LINK LED(緑)

ETHER ポートのリンク状態を示します。

Link Down 時 :
Link UP 時 :

PWR LED(青)

本装置の電源状態を示します。

電源 ON 時 :

STS1 LED(赤 / 緑)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。

電源 ON 時 :
システム起動中 :
ファームウェア更新中 : * (点滅)

指定した PPP または tunnel の状態を示します。

設定は、第 6 章 global node の system led (ユーザーズガイド CLI 編) を参照してください。

接続時 :
切断状態時 :

STS2 LED(緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

電源 ON 時 :
システム起動中 : * (点滅)
システム起動後(ログイン可能状態)
:

USB0 LED(緑)

USB デバイス 0 のステータスを示します。

USB デバイス 0 の接続時 :
USB デバイス 0 の未接続時 :

AUX1 LED(緑) / AUX2 LED(緑)

データ通信端末未装着時に、電波状況を表示します。
設定は、第 6 章 global node の system led (ユーザーズガイド CLI 編) を参照してください。

AUX1 AUX2
データ通信端末未装着時 :
圏外 (および unknown) :
圏内 Signal Level 0-1 :
Signal Level 2 :
Signal Level 3 :

指定した PPP または tunnel の状態を示します。

接続時 :
切断状態時 :

USB1 LED(緑)

USB デバイス 1 のステータスを示します。

USB デバイス 1 の接続時 :
USB デバイス 1 の未接続時 :

EXT LED

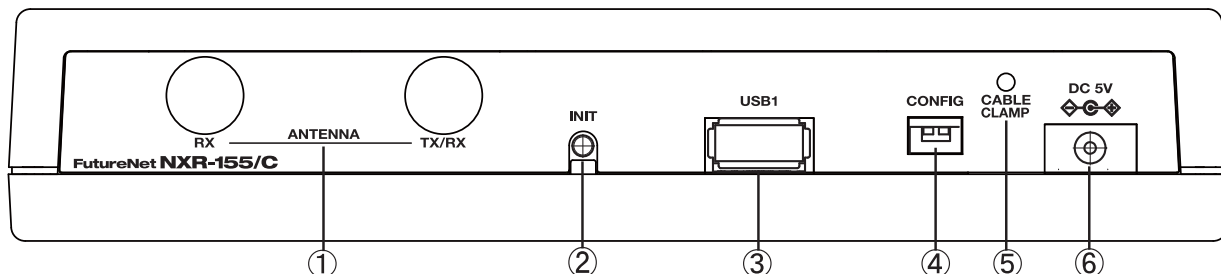
内蔵通信モジュールのステータスを表示します。

通常動作時 :
異常発生時やりセット時 :

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-155/C-XW)

製品背面



ANTENNA RX, ANTENNA TX/RX

対応するアンテナを装着します。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

USB1 ポート

USB Flash メモリ、またはUSB タイプのデータ通信端末を挿入します。

CONFIG

本製品では使用しません。両方のスイッチが下に位置している状態で使用してください。

CABLE CRAMP

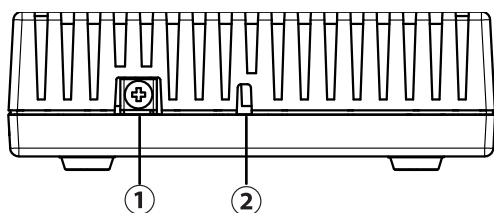
ACアダプタのケーブルが不意に引っ張られても、DCプラグが抜けないようにすることが出来ます。クリップでケーブルを挟み、クリップと本装置をネジで固定します。



DC 5V 電源コネクタ

製品付属のACアダプタを接続します。

製品側面



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。必ずアース線を接続してください。

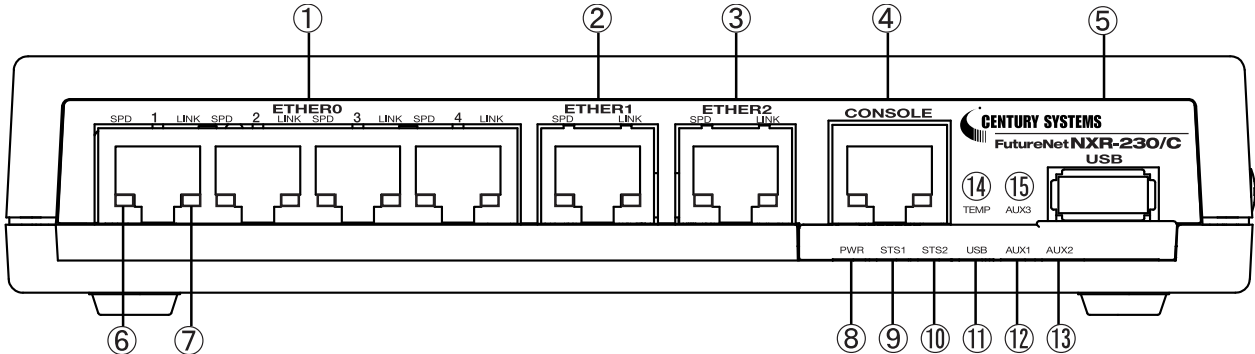
セキュリティスロット

ケンジントンロックに対応しています。

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-230/C)

製品前面



ETHER 0 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の 4 ポートハブです。主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の Ethernet ポートです。主に WAN 側ポートとして使用します。

ETHER 2 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の Ethernet ポートです。主に DMZ ポートとして使用します。

CONSOLE ポート

CLI 接続の際に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

USB ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信端末を挿入します。

SPD LED(赤 / 緑)

ETHER ポートの接続速度を示します。

- 10BASE-T モードで接続時 :
- 100BASE-TX モードで接続時:
- 1000BASE-T モードで接続時:

LINK LED(緑)

ETHER ポートのリンク状態を示します。

- Link Down 時 :
- Link UP 時 :

PWR LED(青)

本装置の電源状態を示します。

- 電源 ON 時 :

STS1 LED(赤 / 緑)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。

- 電源 ON 時 :
- システム起動中 :
- ファームウェア更新中: * (点滅)

指定した PPP または tunnel の状態を示します (設定は、第 6 章 global node の system led を参照)。

- 接続時 :
- 切断状態時 :

STS2 LED(緑)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

- 電源 ON 時 :
- システム起動中 : * (点滅)
- システム起動後(ログイン可能状態) :

USB LED(緑)

USB デバイス 0 のステータスを示します。

- USB デバイス 0 の接続時 :
- USB デバイス 0 の未接続時 :

AUX1 LED(緑) / AUX2 LED(緑)

データ通信端末装着時に、電波状況を表示します (設定は、第 6 章 global node の system led を参照)。

- | | AUX1 | AUX2 |
|---------------------|------|------|
| データ通信端末未装着時 | : | : |
| 圏外 (および unknown) | : | : |
| 圏内 Signal Level 0-1 | : | : |
| Signal Level 2 | : | : |
| Signal Level 3 | : | : |

指定した PPP または tunnel の状態を示します。

- 接続時 :
- 切断状態時 :

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-230/C)

TEMP LED(赤)

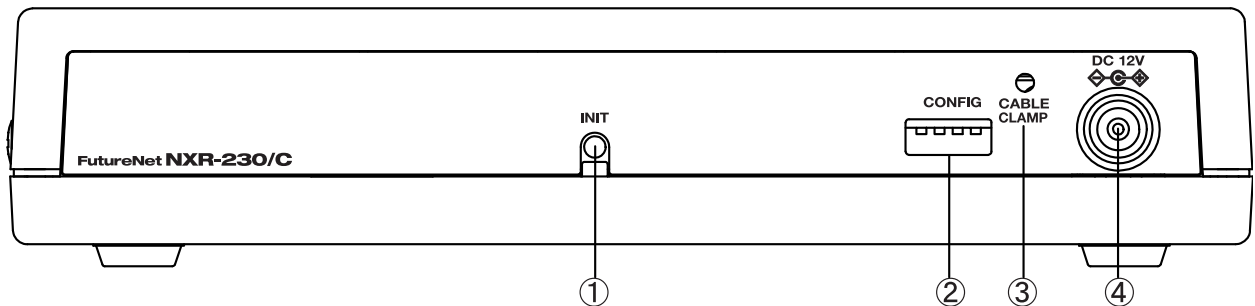
本装置の内部温度を定期的 (60 秒毎) にチェックし、温度状態を表示します。

~ 0		: critical
0 ~ 5	* (点滅)	: warning Low
5 ~ 80		: normal
80 ~ 85	* (点滅)	: warning High
85 ~		: critical

AUX3 LED

本装置では使用しません。

製品背面



INIT

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使用します。

CONFIG

本製品では使用しません。両方のスイッチが下に位置している状態で使用してください。

CABLE CLAMP

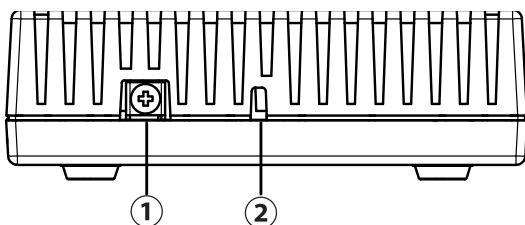
ACアダプタのケーブルが不意に引っ張られても、DCプラグが抜けないようにすることが出来ます。クリップでケーブルを挟み、クリップと本装置をネジで固定します。



DC 12V

製品付属の AC アダプタを接続します。

製品側面



FG(アース) 端子

保安用接続端子です。必ずアース線を接続してください。

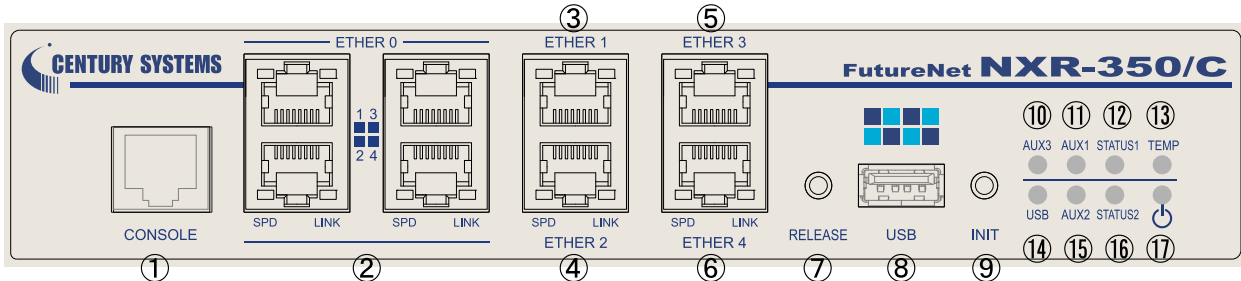
セキュリティスロット

ケンジントンロックに対応しています。

第1章 本装置の概要

. 各部の名称と機能 (NXR-350/C)

製品前面



CONSOLE ポート

CLI 接続の際に使用します。
Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。

ETHER 0 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の 4 ポートハブ
です。主に LAN 側ポートとして使用します。

ETHER 1 ポート

ETHER 2 ポート

ETHER 3 ポート

ETHER 4 ポート

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応の Ethernet ポー
トです。主に WAN 側ポートや DMZ ポートとして使用しま
す。

RELEASE ボタン

USB flash メモリを取り外すときに使用します。
本装置から USB flash メモリを取り外すときは、以下
の手順で操作してください。

1. RELEASE ボタンの長押し(約 3 秒)
2. USB LED の消灯を確認
3. USB flash メモリの取り外し

USB ポート

USB Flash メモリ、または USB タイプのデータ通信モ
ジュールを挿入します。

INIT ボタン

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときに使
用します。

1. Init ボタンを押しながら電源を投入します。
2. STATUS1 LED が下記の状態になるまで、Init ボタン
を押したままにしておきます。
* (点滅)
3. STATUS1 LED が赤点灯したら、Init ボタンを放しま
す。STATUS1 LED が消灯し、本装置が工場出荷設定で
起動します。

AUX3 LED(緑)

ECC メモリでエラーを検出した場合に、ステータスを
表示します。

- 通常は消灯しています。
- LED 消灯中、ECC メモリで 1 ビットエラー検出時に 24
時間点灯します。
- LED 点灯中、1 ビットエラーを検出した場合、さらに 24
時間点灯します。
- LED 消灯中、ECC メモリで 2 ビット以上のエラー検出
時に点滅(fast)します。
- LED 点灯中、ECC メモリで 2 ビット以上のエラー検出
時に点滅(fast)します。
- LED 点滅中、1 ビットエラーを検出しても点滅のまま
です。

AUX1 LED(緑)/ AUX2 LED(緑)

データ通信端末装着時に、電波状況を表示します(設定
は、第 6 章 global node の system led を参照)。

	AUX1	AUX2
データ通信端末未装着時	:	:
圏外 (および unknown)	:	:
圏内 Signal Level 0-1	:	:
Signal Level 2	:	:
Signal Level 3	:	:

指定した PPP または tunnel の状態を示します。

接続時	:
切断状態時	:

STATUS1 LED(緑 / 赤)

本装置のシステム起動時のステータスを示します。

電源 ON 時	:
	* (点滅)
システム起動時	:
システム起動中	:
ファームウェア更新中:	* (点滅)

第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-350/C)

TEMP LED(赤)

本装置の内部温度を定期的 (60 秒毎) にチェックし、温度状態を表示します。

~ -4		: critical
-4 ~ -2	* (点滅)	: warning Low
-2 ~ 52		: normal
52 ~ 54	* (点滅)	: warning High
54 ~		: critical

詳細は、ユーザズガイドを参照してください。

USB LED(緑)

USB デバイスのステータスを示します。

USB デバイスの接続時 :

USB デバイスの未接続時 :

STATUS2 LED(緑 / 赤)

本装置のシステムおよび、サービス起動時のステータスを示します。

電源 ON 時 :

システム起動時 :

システム起動中 : * (点滅)

システム起動後(ログイン可能状態)

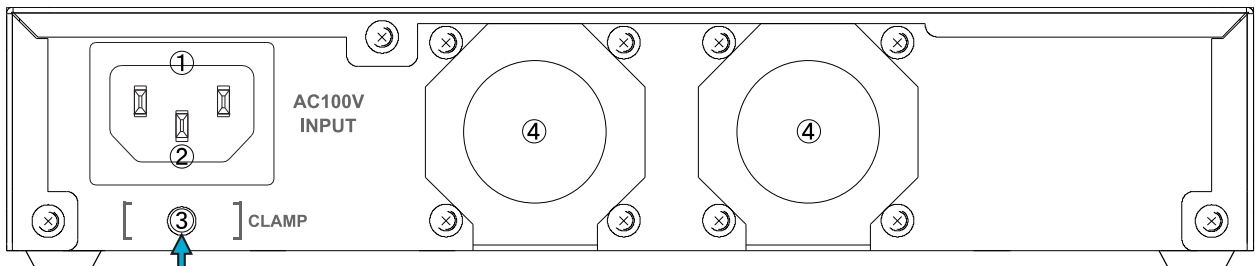
:

POWER LED(緑 / 赤)

本装置の電源状態を表示します。

電源投入時 :

製品背面



AC100V INPUT

付属の電源ケーブルを差し込んでください。

FG (アース) 端子

保安用接続端子です。

CLAMP

付属のケーブルクランプを挿し込んでください (上図を参照してください)。

電源ケーブルが不意に引っ張られても抜けないように、電源ケーブルをケーブルクランプで固定します (左図を参照してください)。

冷却ファン

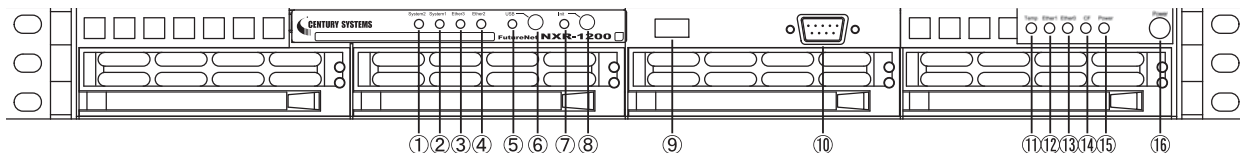
本装置では、強制空冷方式を採用しています。



第1章 本装置の概要

各部の名称と機能 (NXR-1200)

製品前面(NXR-1200)



ランプ表示 凡例

消灯時 : 、点灯時 : 、点滅時 : *

SYSTEM 2 LED ()

システムの起動状態を示します。

システム起動中 : *

システム起動後(ログイン可能状態) :

SYSTEM 1 LED ()

使用しません。

Ether 3 LED ()、 Ether 2 LED ()

Ether 1 LED ()、 Ether 0 LED ()

各Etherポートの状態を示します。

Link UP :

Link DOWN :

データ通信中 : *

USB Status LED ()

USBフラッシュメモリの接続状態を表示します。

接続時 : *

動作状態 :

「USBスイッチ」による取り外し操作時

: *

USBスイッチ

本装置から、USBフラッシュメモリを取り外すときに使用します。以下の手順で操作してください。

1. USBスイッチの長押し(約3秒)
2. USB LEDの消灯を確認
3. USBフラッシュメモリの取り外し

Init Status LED ()

起動状態を表示します。

起動中 : *

「Initスイッチ」で初期設定にて起動中 :

起動完了時 :

Initスイッチ

本装置を工場出荷時の設定に戻して起動するときを使用します。

1. Initスイッチを押しながら電源を投入します。
2. Init Status LEDが下記の状態になるまで、Initスイッチを押したままにしておきます。
点灯 消灯 点灯
3. Init Status LEDが再度点灯したら、Initスイッチを放します。Init Status LEDが消灯し、本装置が工場出荷設定で起動します。

USBインタフェース

オプションのUSBフラッシュメモリを接続します。センチュリー・システムズがサポートするUSBフラッシュメモリを使用してください。

RS-232ポート(D-Sub 9ピン)

本装置にCLI接続するためのコンソールポートです。

Temp LED ()

温度状態を表示します。

本装置の内部温度が一定以上になった時 :

CF LED ()

搭載しているCFカードの使用状態を表示します。

CFへのアクセス時 :

Power LED ()

電源の状態を表示します。

電源が投入されている状態 :

Powerスイッチ

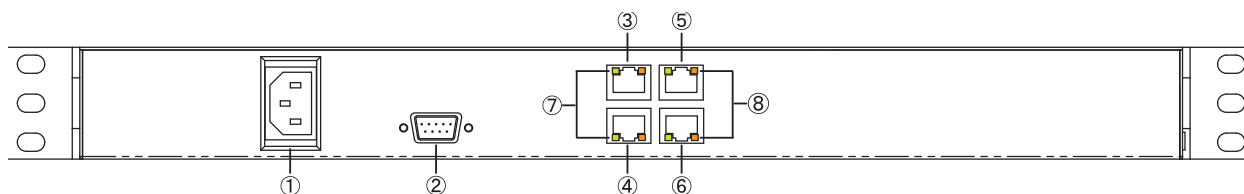
本装置の停止中にスイッチを押すと、本装置が起動します。

本装置の稼働中にスイッチを短時間押すと、正常終了します。また4秒以上スイッチを押すと、強制終了します。

第1章 本装置の概要

. 各部の名称と機能 (NXR-1200)

製品背面 (NXR-1200)



電源ケーブル差し込み口

付属の電源ケーブルを差し込んでください。

RS-232 ポート (D-Sub 9 ピン)

使用しません。

Ether0 ポート (RJ-45)

Ether1 ポート (RJ-45)

Ether2 ポート (RJ-45)

Ether3 ポート (RJ-45)

Ethernet 規格の LAN ケーブルを接続します。ポートは AutoMDI/MDI-X 対応です。

LINK ランプ ()

Ether ポートのリンク状態を表示します。

Link DOWN :

Link UP :

データ送受信時 : *

速度表示ランプ (/)

Ethernet の接続速度を表示します。

10Base-T モード :

100Base-TX モード :

1000Base-T モード :

本製品をお使いいただくには、以下の環境を満たしている必要があります。

ハードウェア環境

- ・本製品に接続するコンピュータの全てに、LAN インタフェースがインストールされていること。
- ・ADSL モデム /CATV モデム /ONU に、10BASE-T、100BASE-TX または 1000BASE-T のインターフェースが搭載されていること。
- ・本製品と全てのコンピュータを接続するためのハブやスイッチングハブが用意されていること。
- ・本製品と全てのコンピュータを接続するために必要な種類のネットワークケーブルが用意されていること。

ソフトウェア環境

- ・TCP/IP を利用できる OS がインストールされていること。
- ・接続されている全てのコンピュータの中で少なくとも1台に、ブラウザがインストールされていること。弊社では Internet Explorer 8 で動作確認を行っています。

なおサポートにつきましては、本製品固有の設定項目と本製品の設定に関する OS 上の設定に限らせていただきます。

OS 上の一般的な設定やパソコンにインストールされた LAN ボード / カードの設定、各種アプリケーションの固有の設定等のお問い合わせについてはサポート対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

第2章

装置の設置

第2章 装置の設置

・装置の設置に関する注意点

本装置の各設置方法について説明します。

下記は設置に関する注意点です。よくご確認いただいてから設置してください。

注意！

本装置は直射日光が当たるところや、温度の高いところには設置しないようにしてください。
内部温度が上がり、動作が不安定になる場合があります。

注意！

ACアダプタのプラグを本体に差し込んだ後にACアダプタのケーブルを左右および上下に引っ張らず、
緩みがある状態にしてください。
抜き差しもケーブルを引っ張らず、コネクタを持って行ってください。
また、ACアダプタのケーブルを足などで引っ掛けてプラグ部に異常な力が掛からないように配線にご注
意ください。

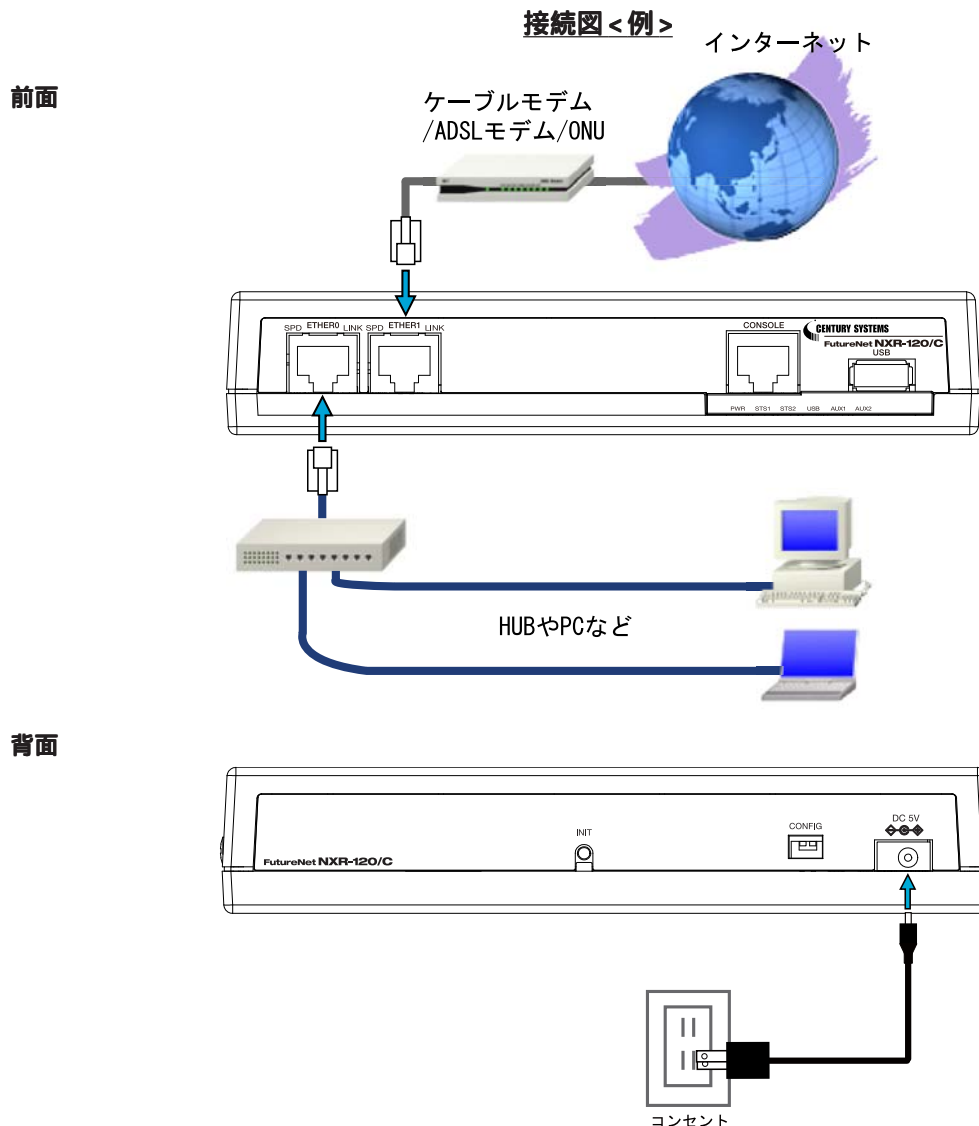
注意！

本装置側でも各ポートでARP tableを管理しているため、PCを接続しているポートを変更するとそのPC
から通信ができなくなる場合があります。このような場合は、本装置側のARP tableが更新されるまで
(数秒～数十秒)通信できなくなりますが、故障ではありません。

第2章 装置の設置

1. 装置の設置 (NXR-120/C)

NXR-120/CとPCやxDSL モデム / ケーブルモデム / ONUは、以下の手順で接続してください。



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が「OFF」になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にあるETHER 1ポートと、xDSL/ケーブルモデムやONUを、LANケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にあるETHER 0ポートとPCをLANケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 本装置とACアダプタ、ACアダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

本装置の全てのEthernetポートは、AutoMDI/MDI-X対応です。

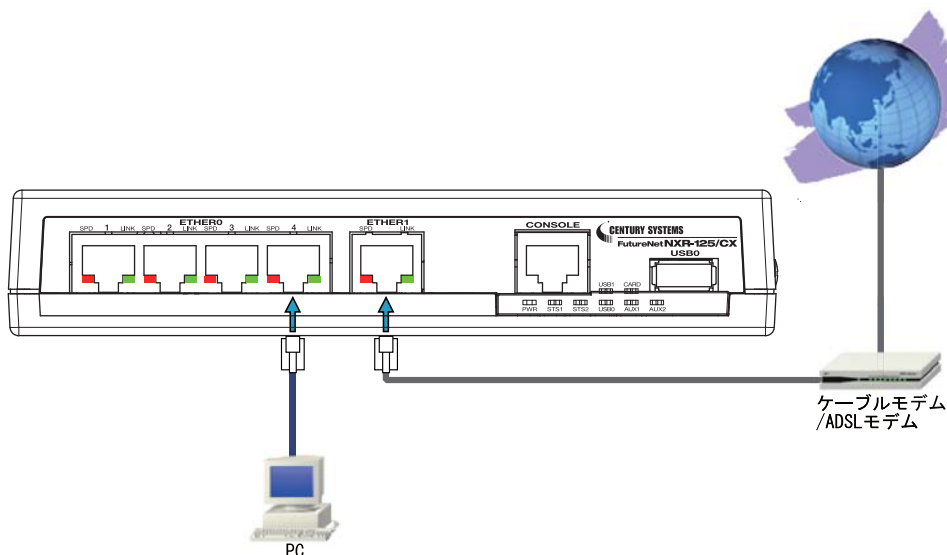
第2章 装置の設置

1. 装置の設置 (NXR-125/CX)

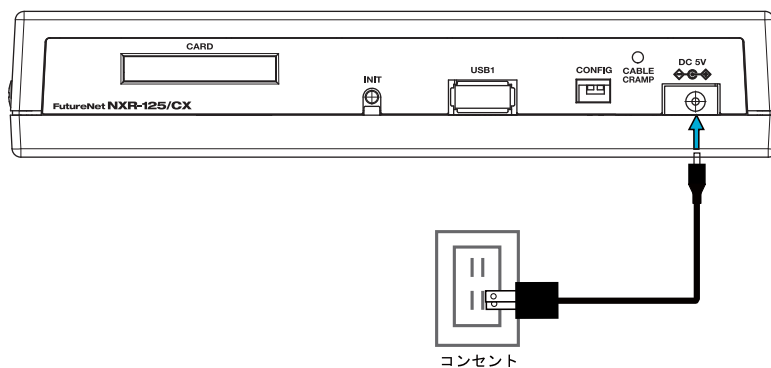
NXR-125/CX と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図 <例>

前面



背面



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が「OFF」になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にある ETHER 1 ポートと、ADSL モデム/ケーブルモデム/ONUを、LANケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にある ETHER 0 ポートと、HUB や PC を LAN ケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 本装置と AC アダプタ、AC アダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

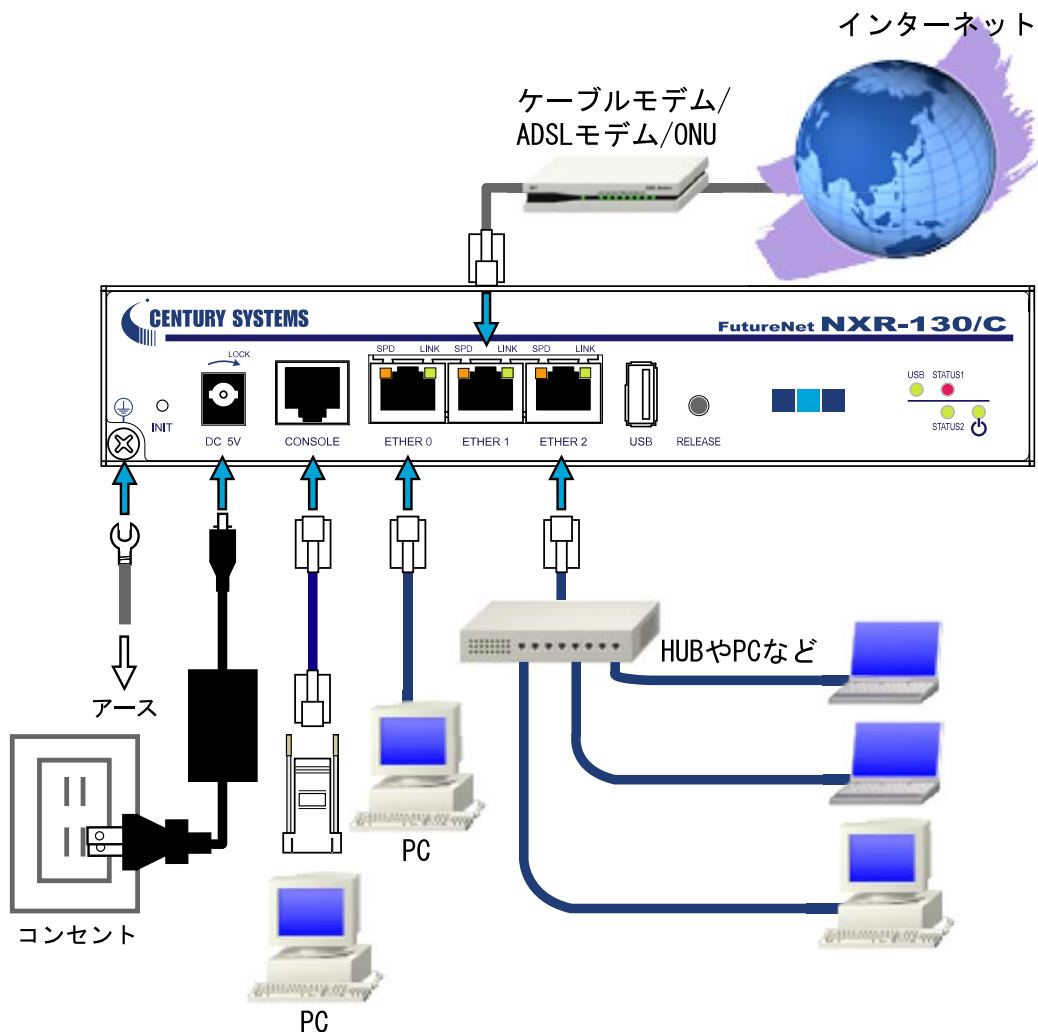
本装置の全ての Ethernet ポートは、AutoMDI / MDI-X 対応です。

第2章 装置の設置

. 装置の設置 (NXR-130/C)

NXR-130/C と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図<例>



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が「OFF」になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にあるETHER 1ポートと、xDSLモデム/ケーブルモデム/ONUを、LANケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にあるETHER 0ポート、ETHER 2ポートと、PCをLANケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 本装置とACアダプタ、ACアダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

本装置の全てのEthernetポートは、AutoMDI/MDI-X対応です。

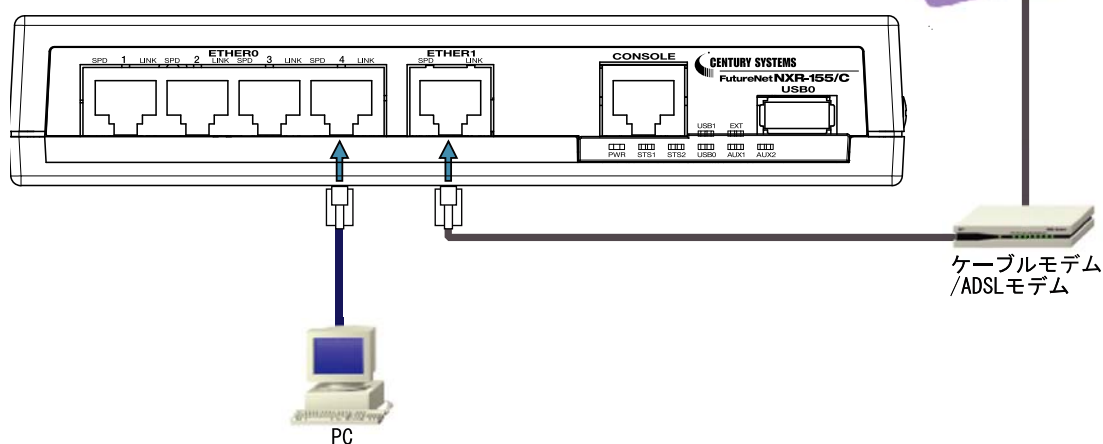
第2章 装置の設置

1. 装置の設置 (NXR-155/C-WM)

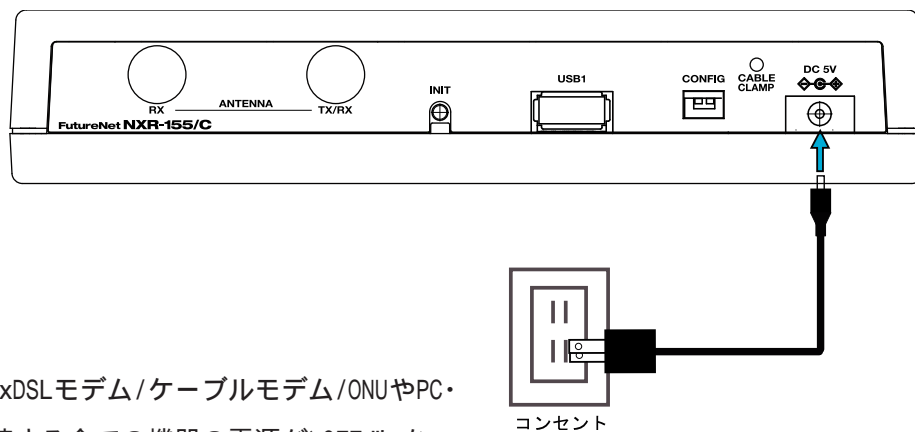
NXR-155/C-WM と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図 <例>

前面



背面



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が“OFF”になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にあるETHER 1ポートと、ADSLモデム/ケーブルモデム/ONUを、LANケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にあるETHER 0ポートと、HUBやPCをLANケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 本装置とACアダプタ、ACアダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

本装置の全てのEthernetポートは、AutoMDI/MDI-X対応です。

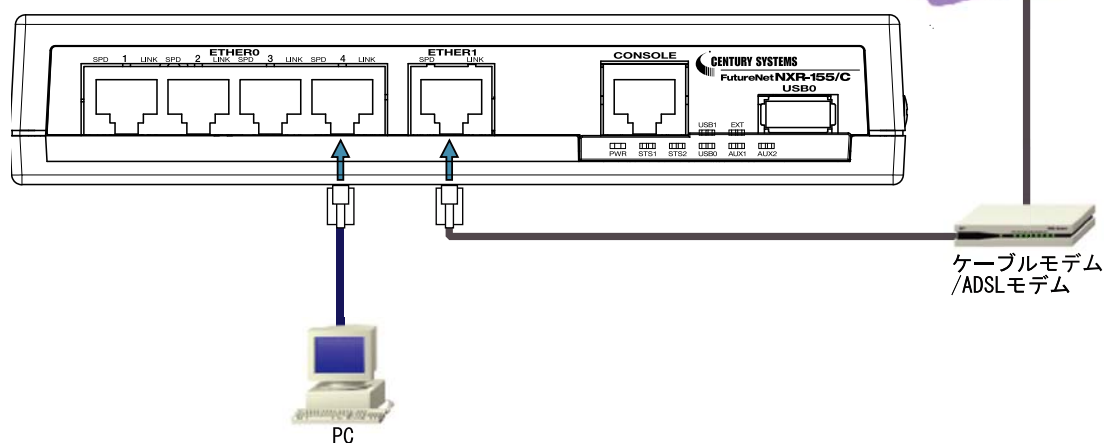
第2章 装置の設置

1. 装置の設置 (NXR-155/C-XW)

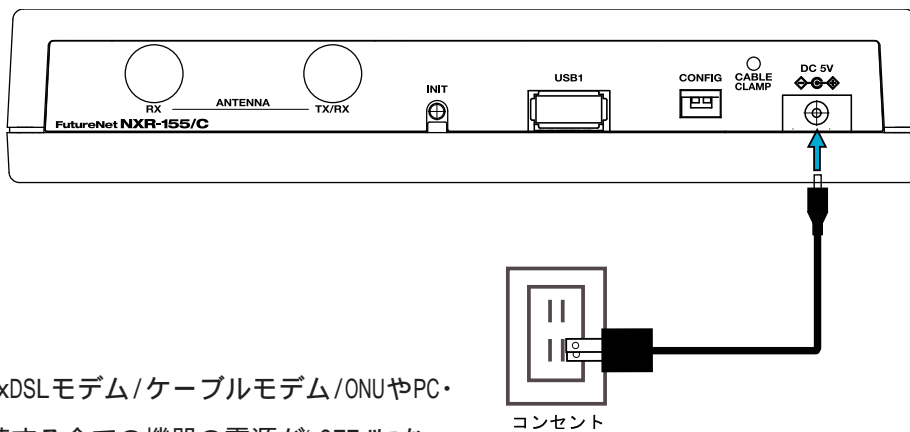
NXR-155/C-XW と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図<例>

前面



背面



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が“OFF”になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にある ETHER 1 ポートと、ADSL モデム/ケーブルモデム/ONUを、LANケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にある ETHER 0 ポートと、HUB や PC を LAN ケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 本装置とACアダプタ、ACアダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

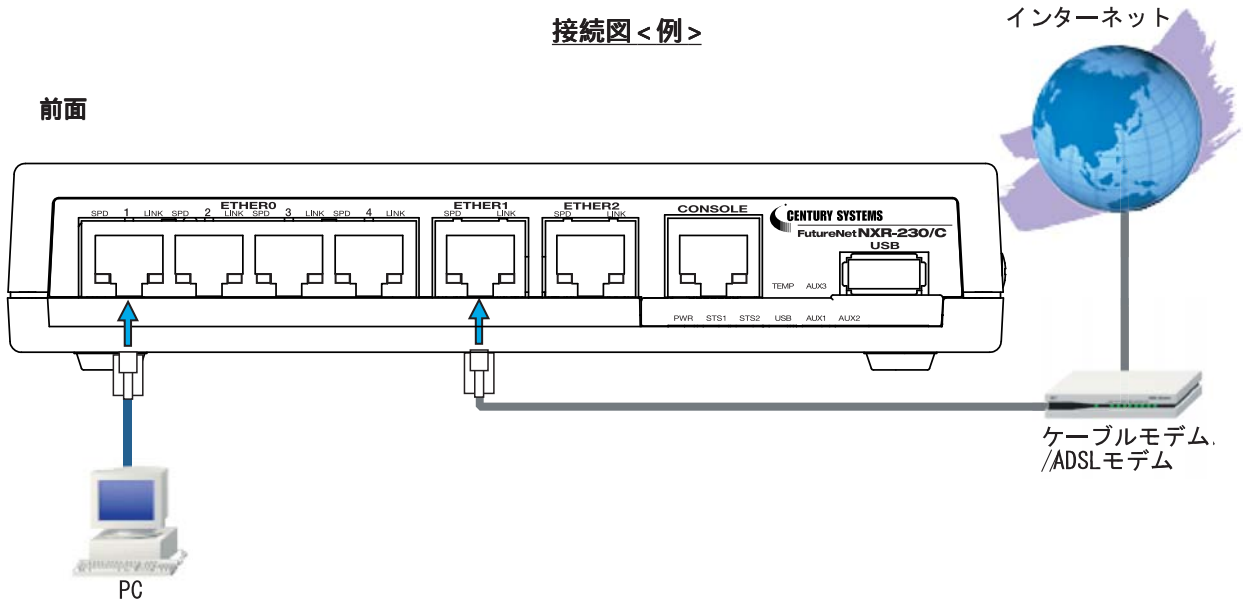
本装置の全てのEthernetポートは、AutoMDI/MDI-X対応です。

第2章 装置の設置

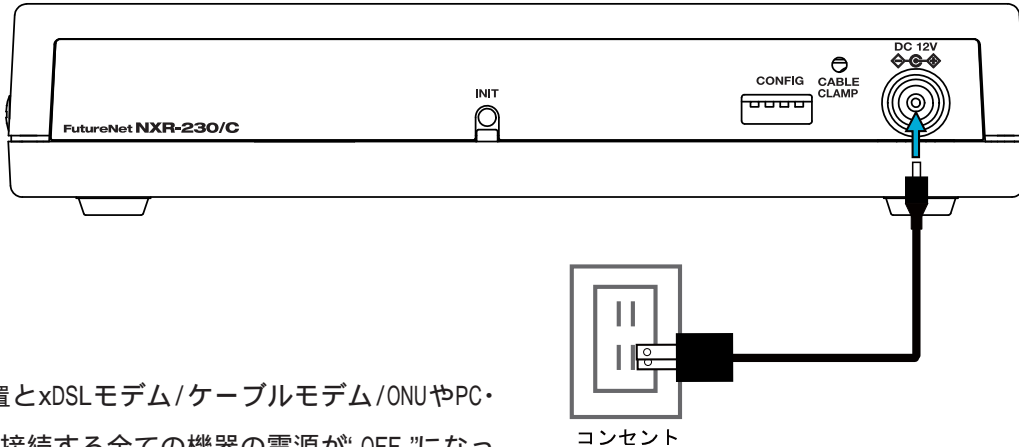
1. 装置の設置 (NXR-230/C)

NXR-230/C と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図 < 例 >



背面



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が“OFF”になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にある ETHER 1 ポートと、ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU を、LAN ケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にある ETHER 0 ポートと、HUB や PC を LAN ケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0 ポートに接続した PC からおこないます。

4 本装置と AC アダプタ、AC アダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

本装置の全ての Ethernet ポートは、AutoMDI / MDI-X 対応です。

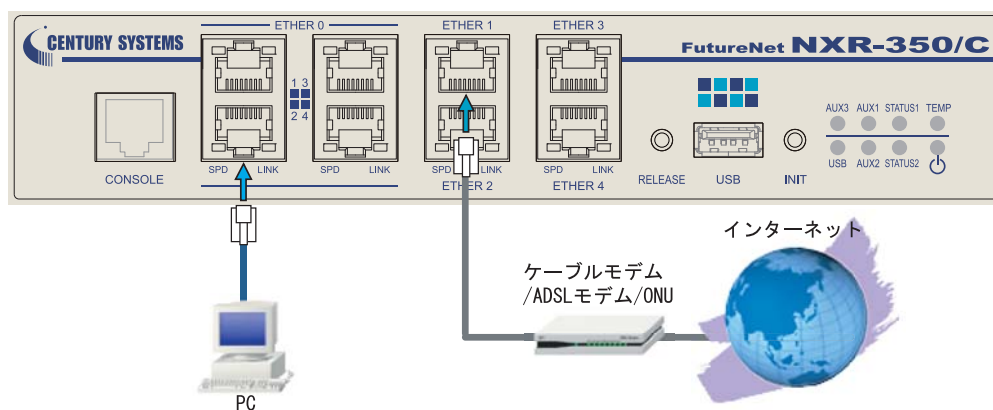
第2章 装置の設置

・装置の設置 (NXR-350/C)

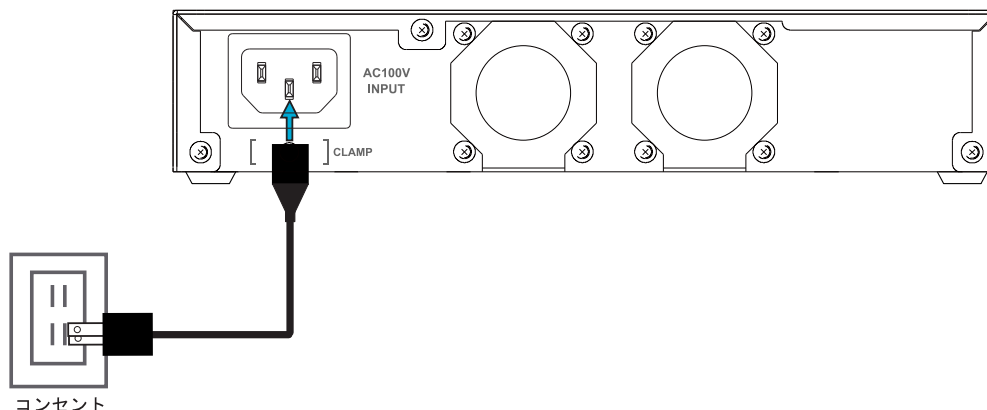
NXR-350/C と PC や xDSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図 <例>

前面



背面



1 本装置とxDSLモデム/ケーブルモデム/ONUやPC・HUBなど、接続する全ての機器の電源が「OFF」になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にあるETHER 1ポートと、ADSLモデム/ケーブルモデム/ONUを、LANケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にあるETHER 0ポートと、HUBやPCをLANケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、ETHER 0ポートに接続したPCからおこないます。

4 本装置とACアダプタ、ACアダプタとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。

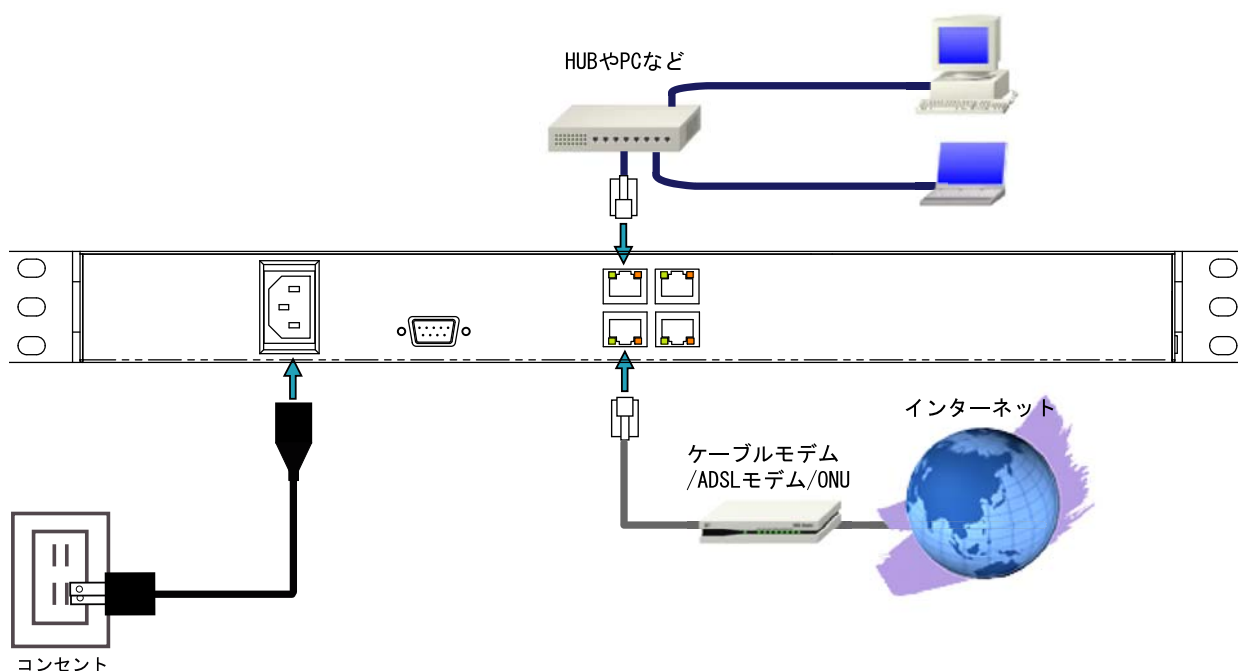
本装置の全てのEthernetポートは、AutoMDI/MDI-X対応です。

第2章 装置の設置

．装置の設置（NXR-1200）

NXR-1200 と、PC や ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU は、以下の手順で接続してください。

接続図<例>



1 本装置と ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU や PC ・ HUB など、接続する全ての機器の電源が “ OFF ” になっていることを確認してください。

2 本装置の前面にある Ether 1 ポートと、ADSL モデム / ケーブルモデム / ONU を、LAN ケーブルで接続してください。

3 本装置の前面にある Ether 0 ポートと、HUB や PC を LAN ケーブルで接続してください。

工場出荷設定状態の場合、本装置へのログインは、Ether 0 ポートに接続した PC からおこないます。

本装置の全 Ethernet ポートは Gigabit Ethernet、AutoMDI/MDI-X に対応しています。

4 本装置と電源コード、電源コードとコンセントを接続してください。

5 全ての接続が完了しましたら、各機器の電源を投入してください。NXR-1200 の本体前面にある Power スイッチを押すと、本装置が起動します。

第3章

コンピュータのネットワーク設定

第3章 コンピュータのネットワーク設定

. Windows XP のネットワーク設定

ここではWindowsXPが搭載されたコンピュータのネットワーク設定について説明します。

1 「コントロールパネル」 「ネットワーク接続」から、「ローカル エリア接続」を開きます。

2 「ローカル エリア接続の状態」画面が開いたらプロパティをクリックします。

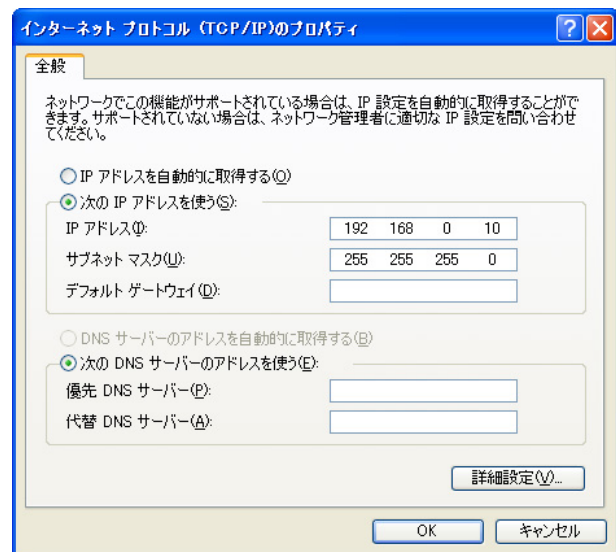


4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」の画面では、「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れて以下のように入力します。

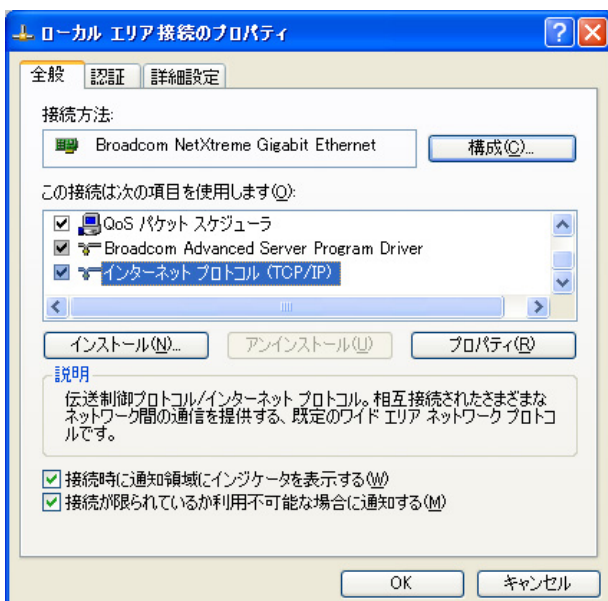
IP アドレス「192.168.0.10」

サブネットマスク「255.255.255.0」

デフォルトゲートウェイ「空欄」



3 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面が開いたら、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。



5 最後にOKボタンをクリックして設定完了です。これで本装置へのログインの準備が整いました。

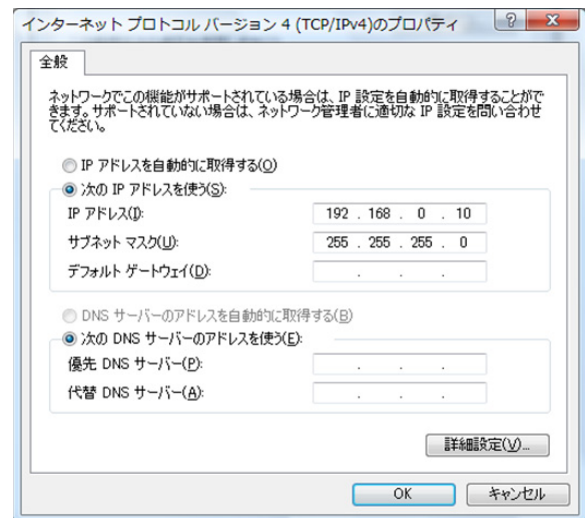
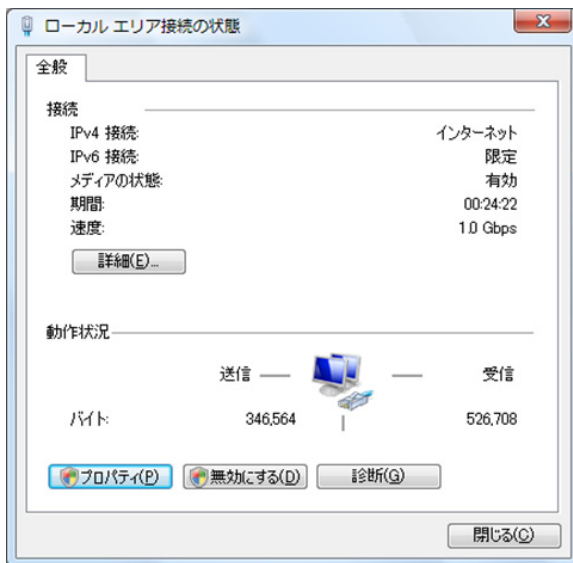
第3章 コンピュータのネットワーク設定

Windows Vista のネットワーク設定

ここではWindows Vistaが搭載されたコンピュータのネットワーク設定について説明します。

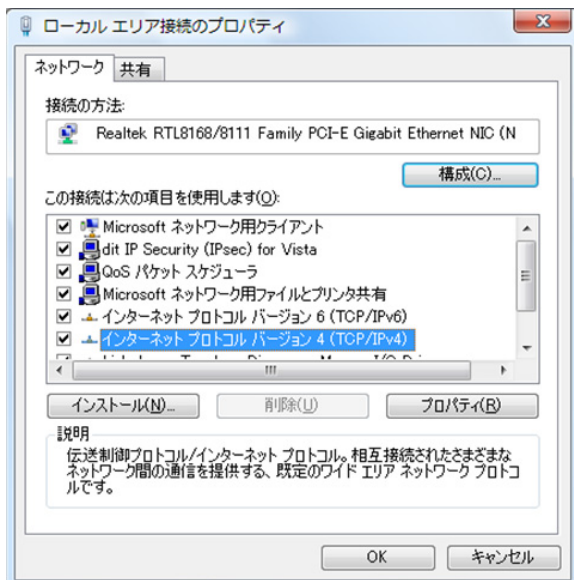
- 1 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット」 「ネットワークと共有センター」 「ネットワーク接続の管理」 から、「ローカル エリア接続」を開きます。
- 4 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」の画面では、「次のIPアドレスを使う」にチェックを入れて以下のように入力します。
IP アドレス「192.168.0.10」
サブネットマスク「255.255.255.0」
デフォルトゲートウェイ「空欄」

- 2 「ローカル エリア接続の状態」画面が開いたらプロパティをクリックします。



- 3 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が開いたら、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。

- 5 最後にOKボタンをクリックして設定完了です。これで本装置へのログインの準備が整いました。



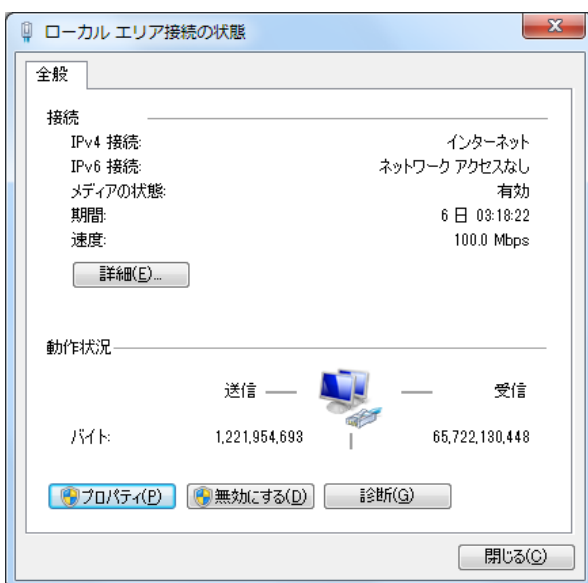
第3章 コンピュータのネットワーク設定

Windows 7 のネットワーク設定

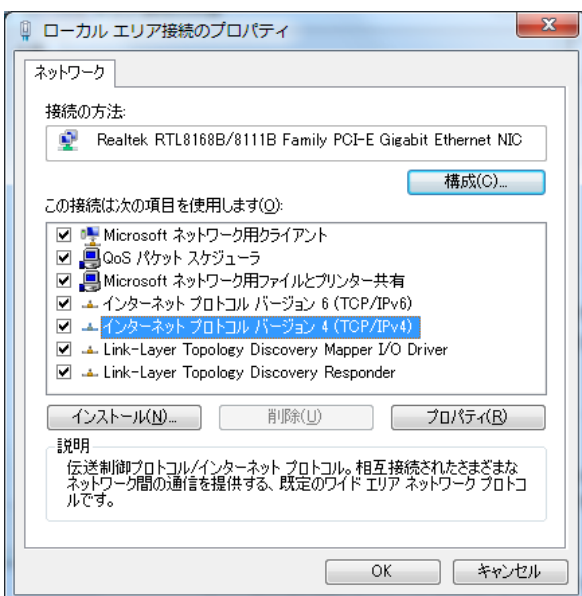
ここではWindows 7が搭載されたコンピュータのネットワーク設定について説明します。

1 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット」 「ネットワークと共有センター」から、「ローカル エリア接続」を開きます。

2 「ローカル エリア接続の状態」画面が開いたらプロパティをクリックします。



3 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が開いたら、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。

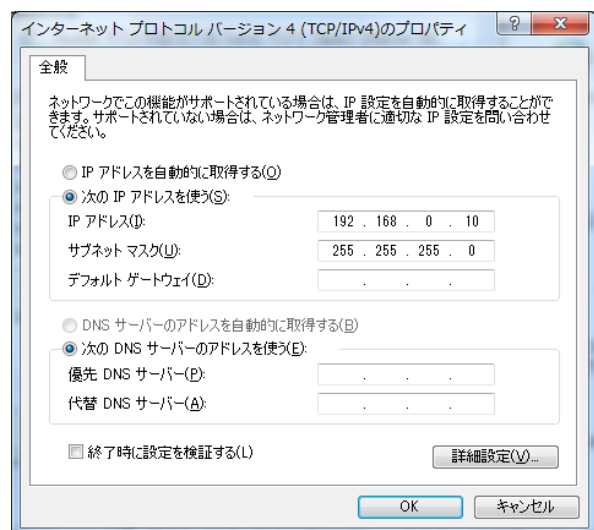


4 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」の画面では、「次のIPアドレスを使う」にチェックを入れて以下のように入力します。

IPアドレス「192.168.0.10」

サブネットマスク「255.255.255.0」

デフォルトゲートウェイ「空欄」



5 最後にOKボタンをクリックして設定完了です。これで本装置へのログインの準備が整いました。

第3章 コンピュータのネットワーク設定

. Macintosh のネットワーク設定

ここではMacintoshのネットワーク設定について説明します。

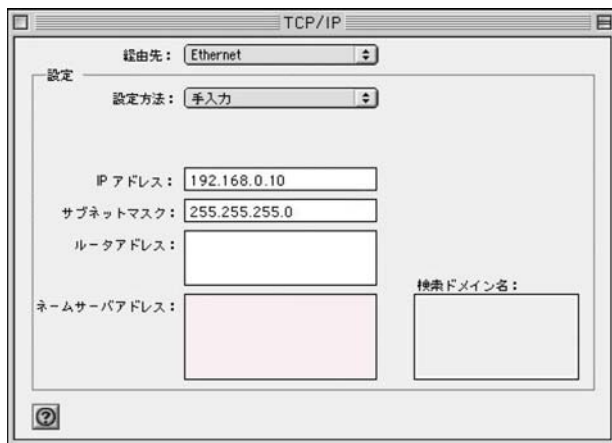
1 「アップルメニュー」から「コントロールパネル」 「TCP/IP」を開きます。

2 経由先を「Ethernet」、設定方法を「手入力」にして、以下のように入力してください。

IPアドレス「192.168.0.10」

サブネットマスク「255.255.255.0」

ルータアドレス「空欄」



3 ウィンドウを閉じて設定を保存します。その後Macintosh本体を再起動してください。これで本装置へログインする準備が整いました。

ここでは、Mac OS Xのネットワーク設定について説明します。

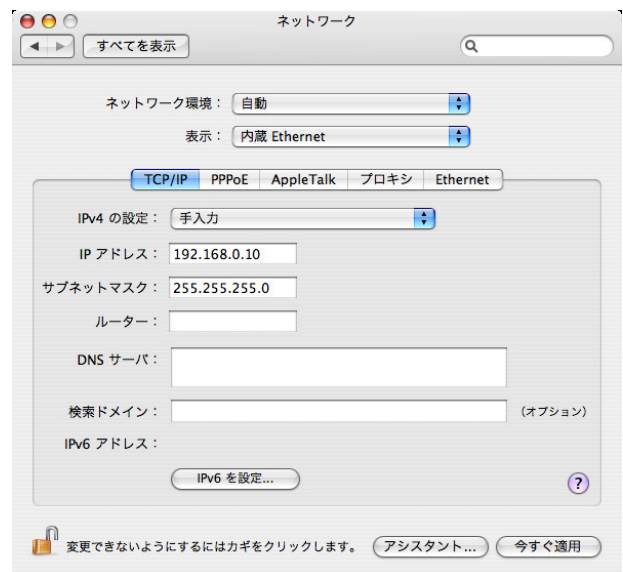
1 「システム環境設定」から「ネットワーク」を開きます。

2 ネットワーク環境を「自動」、表示を「内蔵 Ethernet」、IPv4 の設定を「手入力」にして、以下のように入力してください。

IPアドレス「192.168.0.10」

サブネットマスク「255.255.255.0」

ルーター「空欄」



3 ウィンドウを閉じて設定の変更を適用します。これで、本装置へログインする準備が整いました。

第4章

本装置へのログイン

第4章 本装置へのログイン

・本装置の GUI へのログイン

本装置の GUI へのログイン

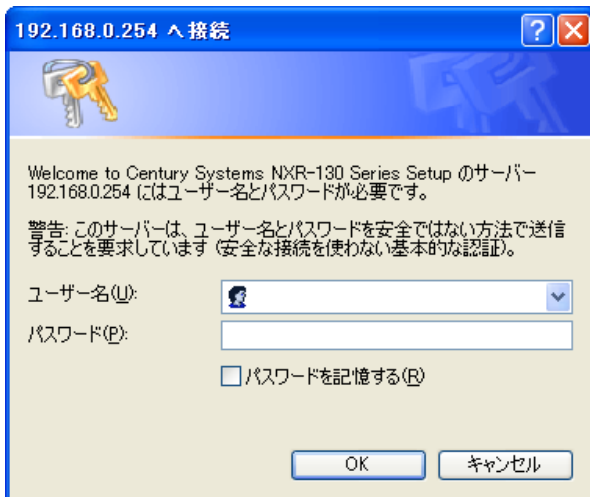
1. 本装置の ETHER 0 ポートと PC を LAN ケーブルで接続します。
2. PC で Web ブラウザを起動します。

ブラウザのアドレス欄に、以下の IP アドレスとポート番号を入力してください。

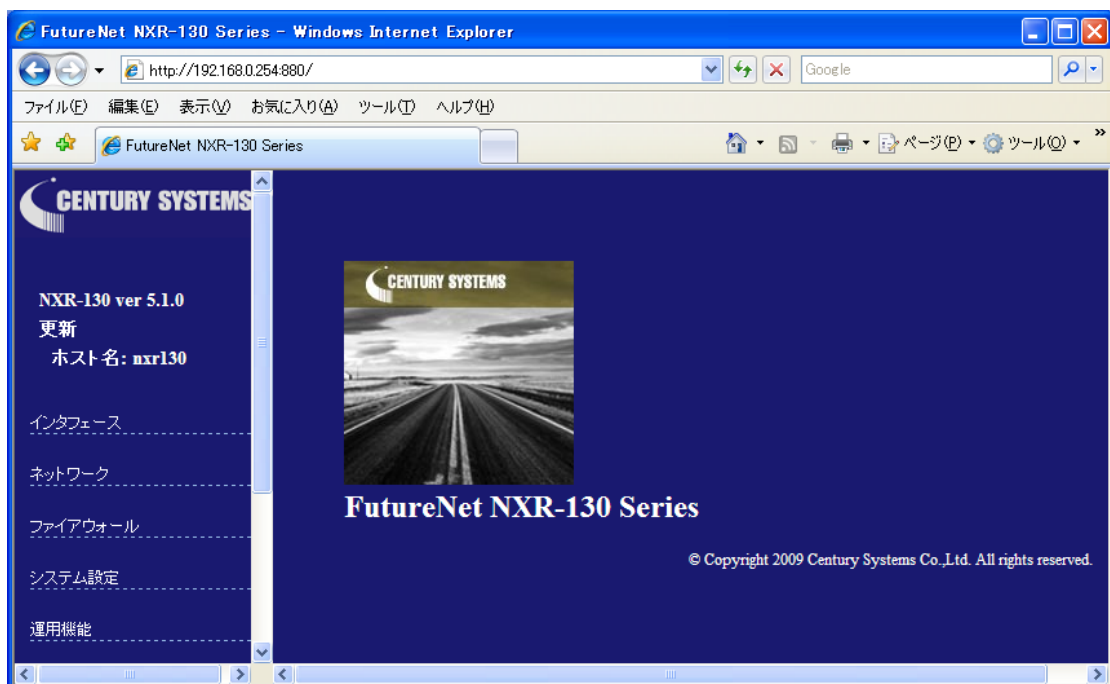
http://192.168.0.254:880/

192.168.0.254 は、ETHER 0 ポートの工場出荷時の IP アドレスです。アドレスを変更した場合は、そのアドレスを指定してください。**設定画面のポート番号 880 は変更することができません。**

3. 認証ダイアログ画面が表示されます。ユーザ名、パスワード共に「admin」（工場出荷設定）を入力してログインします。



4. 下記のような画面が表示されます。以上で、本装置の GUI へのログインは完了です。



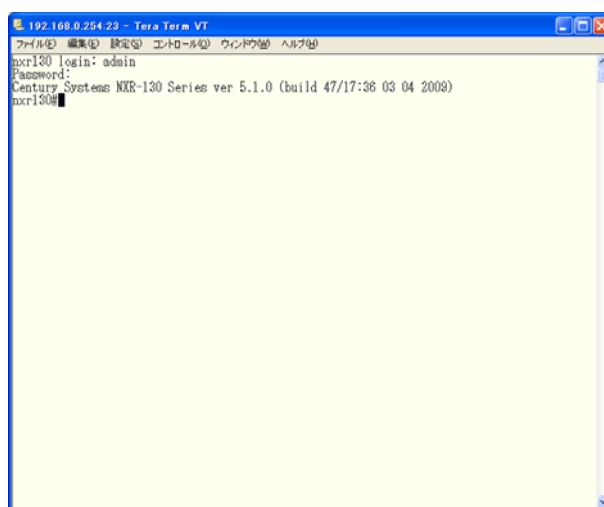
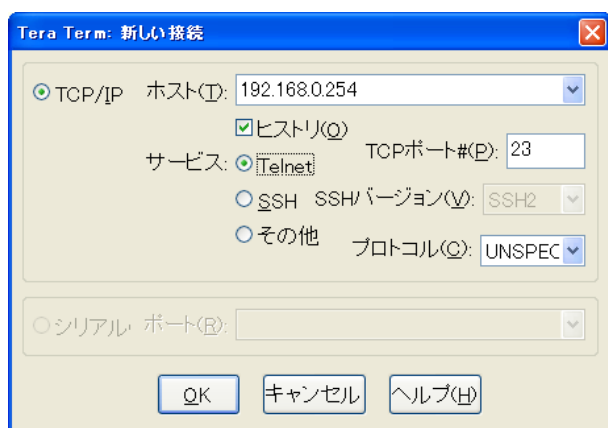
第4章 本装置へのログイン

・本装置のCLIへのログイン

本装置のCLIへのログイン(TELNET)

1. 本装置のETHER 0ポートとPCをLANケーブルで接続します。
2. PCからTELNET接続を開始すると、ログイン画面が表示されます。
3. ユーザ名、パスワード共に「admin」(工場出荷設定)を入力してログインします。

<画面はTeraTermによるTelnetのログイン画面です>



以上で、本装置のCLIへのログインは完了です。

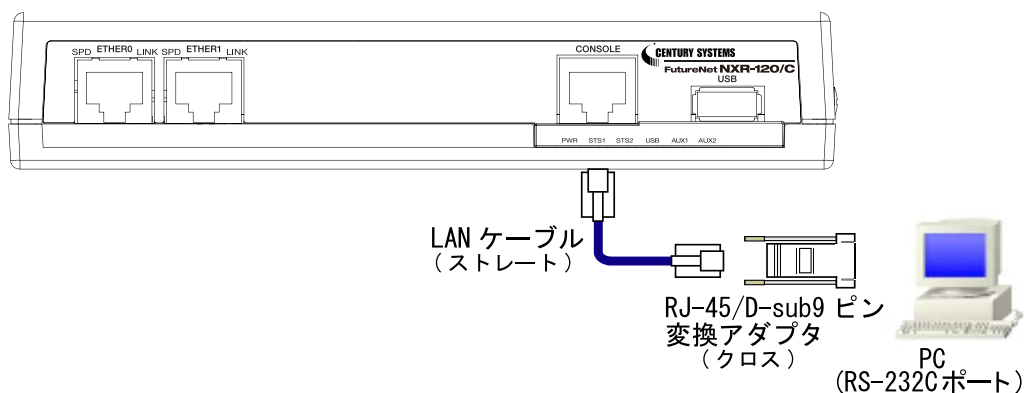
第4章 本装置へのログイン

・本装置のCLIへのログイン

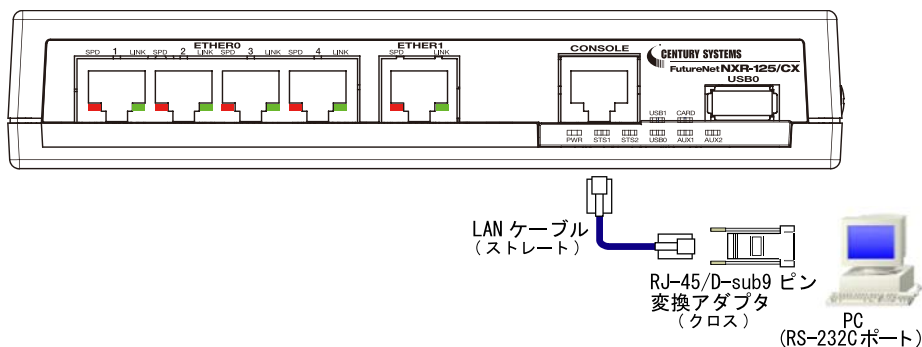
本装置のCLIへのログイン(CONSOLE)

1. 本装置前面の CONSOLE ポートと変換アダプタを、LAN ケーブルで接続します。接続に使用する以下の部品は、製品に付属されています。
 - ・LAN ケーブル(ストレート、1 m)
 - ・RJ-45/D-sub9 ピン変換アダプタ(クロス)
2. 変換アダプタのコネクタを、PC のRS-232C ポートに接続してください。

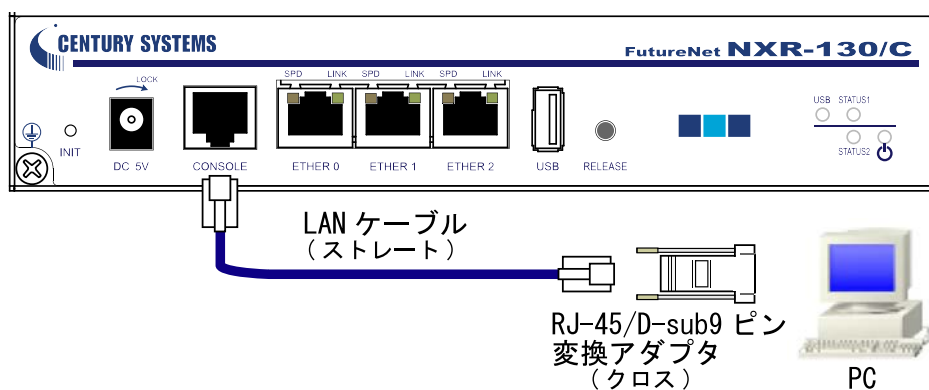
< NXR-120/C >



< NXR-125/CX >



< NXR-130/C >



< 次ページに続く >

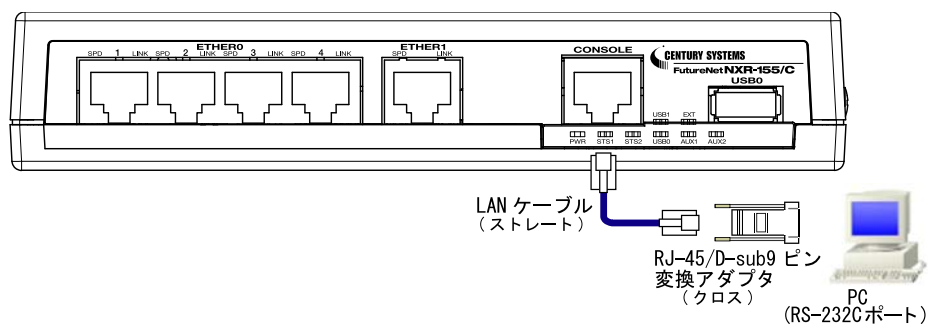
第4章 本装置へのログイン

・本装置のCLIへのログイン

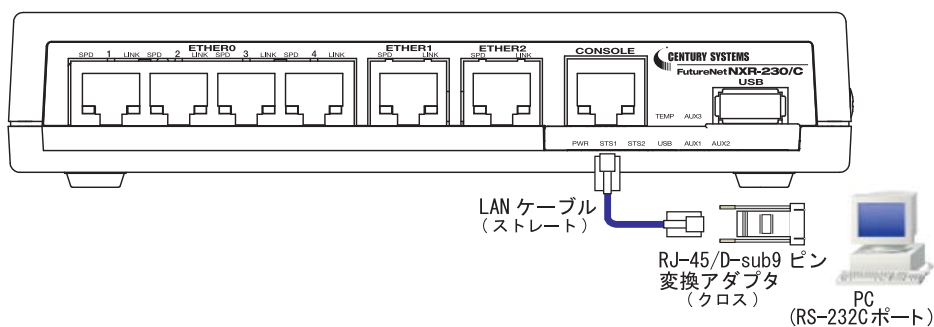
本装置のCLIへのログイン(CONSOLE) < 続き >

< NXR-155/C-WM >

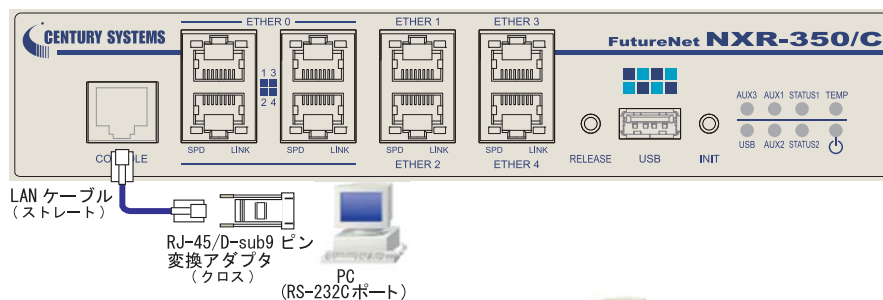
< NXR-155/C-XW >



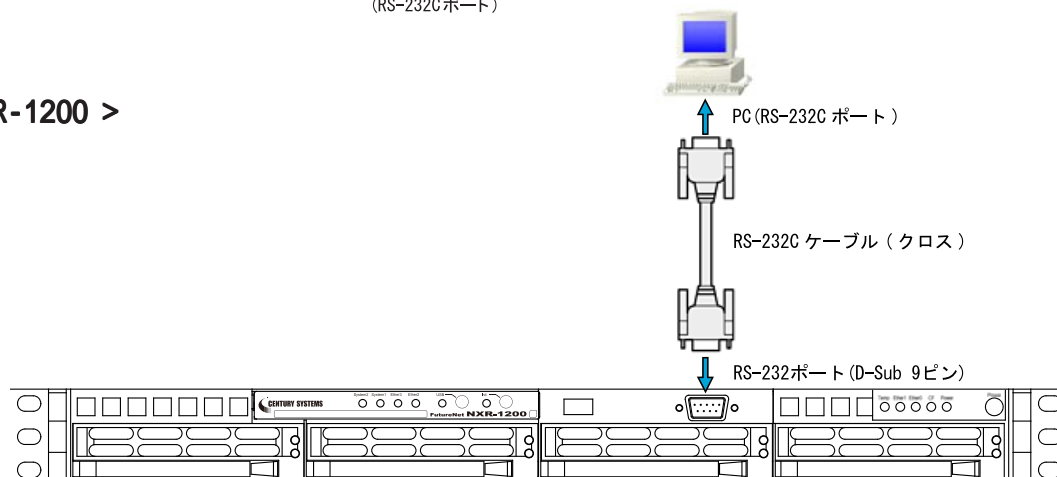
< NXR-230/C >



< NXR-350/C >



< NXR-1200 >

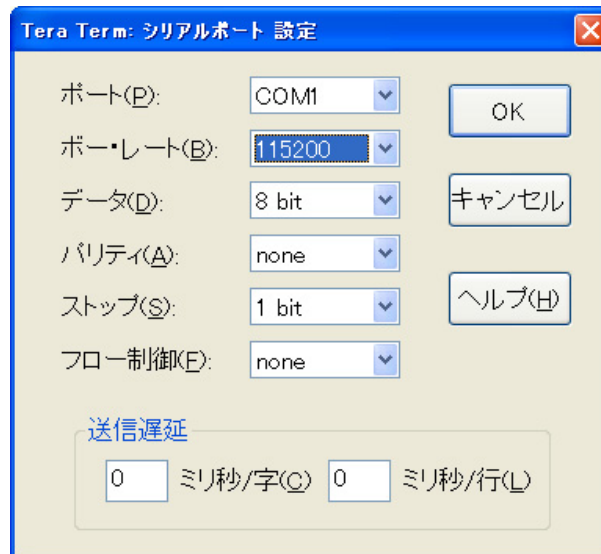


第4章 本装置へのログイン

・本装置のCLIへのログイン

本装置のCLIへのログイン(CONSOLE) <続き>

3. 本装置を接続したPCで、設定用のターミナルソフト(TeraTerm等)を起動します。
4. 接続条件設定は以下のように設定します。<設定例(TeraTermでの接続設定画面)>
設定方法については、ご使用の各ターミナルソフトの説明書をご覧ください。



5. 「Return」キーまたは「Enter」キーを押すと、ログイン画面が表示されます。
6. ユーザ名、パスワード共に「admin」(工場出荷設定)を入力してログインします。



以上で、本装置のCLIへのログインは完了です。

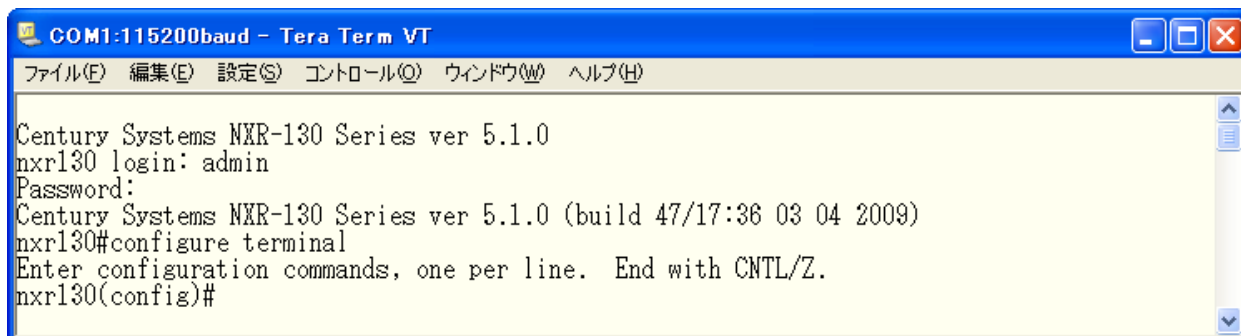
第4章 本装置へのログイン

4.1 HTTPサーバの起動

HTTPサーバの起動

本装置の工場出荷設定状態で電源を投入するとHTTPサーバが起動しますが、設定変更等によりHTTPサーバが起動しない場合は、下記の手順でHTTPサーバを起動してください。

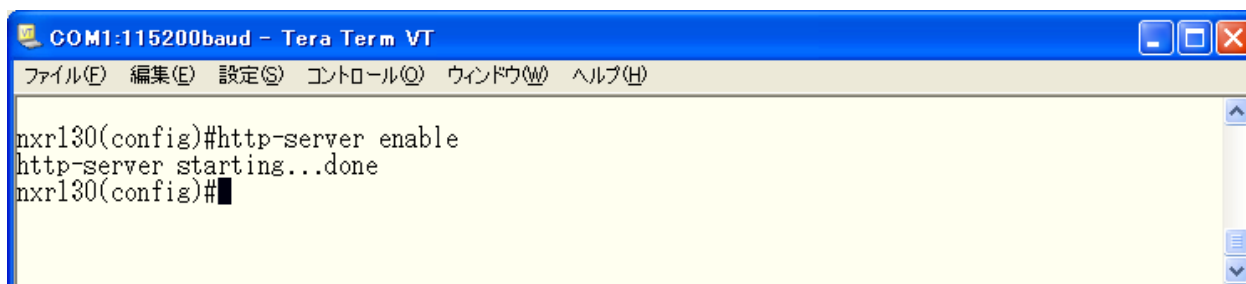
1. CLI にログインした後、“configure terminal” コマンドで、CONFIGURATION モードに移行します。



```
COM1:115200baud - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0
nxr130 login: admin
Password:
Century Systems NXR-130 Series ver 5.1.0 (build 47/17:36 03 04 2009)
nxr130#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
nxr130(config)#
```

2. “http-server enable” コマンドを実行して、HTTPサーバを起動します。



```
COM1:115200baud - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

nxr130(config)#http-server enable
http-server starting...done
nxr130(config)#
```

以上で、HTTPサーバの起動は完了です。

第4章 設定画面へのログイン

・ GUI で設定可能な項目

本装置の GUI で設定可能な項目の一覧です。

[インタフェース]

Ethernet I/F

- ・ Ethernet

PPP I/F

- ・ PPP アカウント
- ・ PPPoE

[ネットワーク]

IPv4

- ・ スタティックルート
- ・ 固定 ARP

DHCP

- ・ DHCP ネットワーク
- ・ DHCP ホスト
- ・ DHCP リレー

・ DNS

・ WarpLink

・ NTP

[VPN]

IPsec

- ・ IPsec トンネル
- ・ IPsec 全体設定

[ファイアウォール]

アクセスリスト

- ・ IPv4 アクセスリスト

[ユーザインタフェース]

SSH

- ・ SSH サービス
- ・ SSH 鍵 (netconf)

NETCONF

- ・ NETCONF

CRP

- ・ CRP グローバル
- ・ CRP クライアント

[システム設定]

- ・ 本装置のパスワード
- ・ ホスト名

ログ

- ・ システムログ
- ・ ログメール

設定情報

- ・ 設定の保存
- ・ 設定の復帰
- ・ 設定のリセット

ファームウェア

- ・ アップデート

・ 内蔵時計

・ 再起動

・ セッション数

[運用機能]

ネットワーク診断

- ・ Ping
- ・ Traceroute

パケットダンプ

- ・ 実行
- ・ 結果表示

ログ情報

- ・ システムログ

システム情報

- ・ システム情報
- ・ テクニカルサポート
- ・ システムモニター
- ・ サポート情報

第5章

インタフェース設定

1. Ethernet

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

- インタフェース
- Ethernet I/F
- ・ Ethernet

Ethernet

設定したいインタフェースを選択して「編集」をクリックします。

NXR-120/CおよびNXR-130/C

インタフェース	IPアドレス	MTU	リンクモード	編集
ethernet0	192.168.0.254/24	1500	auto	編集
ethernet1		1500	auto	編集
ethernet2		1500	auto	編集

(NXR-120には、ethernet2はありません。)

NXR-125/CX

ethernet1	
IPアドレス割当方式	固定アドレス
固定アドレス	
IPアドレス	
DHCPクライアント	
ホスト名	
インタフェース	
Keepalive	10
MTU	1500
リンクモード	自動
詳細設定	編集
PPPoE	編集
フィルタ	編集
保存	

IPアドレス割当方式

「固定アドレス」/「DHCPクライアント」をプルダウンから選択してください。

IPアドレス割当方式	固定アドレス
固定アドレス	固定アドレス
	DHCPクライアント

【固定アドレス】

IPアドレス

「固定アドレス」を選択した場合に入力してください。IPアドレス/マスクビット値の形式で入力してください。

[入力例] 192.168.1.254/24

【DHCPクライアント】

ホスト名

「DHCPクライアント」を選択した場合に入力してください。必要がなければ、空欄でも構いません。

【インタフェース】

Keepalive

Ethernetポートのリンク状態を定期的に監視します。OSPFの使用時にリンクダウンを検知した場合、そのインタフェースに関連付けられたルーティング情報の配信を停止します。再度リンク状態がアップした場合には、そのインタフェースに関連付けられたルーティング情報の配信を再開します。監視間隔は、1-60[秒]の間で設定できます。また、0を設定すると、リンク監視を行いません。デフォルト値は、10[秒]です。

MTU

「Path-MTU-Black-HOLE」現象が発生した場合等は、この値を変更することで回避できます。通常は初期設定の1500[バイト]のままで構いません。

リンクモード

リンクモードをプルダウンから選択してください。工場出荷設定は「自動」です。

リンクモード	自動
	自動
	100Mbps/全二重
	100Mbps/半二重
	10Mbps/全二重
	10Mbps/半二重

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第5章 インタフェース設定

. Ethernet I/F

詳細設定

詳細設定	編集
------	----

「編集」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

ethernet1	詳細設定
PROXY ARP	使用しない ▼
Directed Broadcast	使用しない ▼
ICMP Redirects	使用する ▼
ICMP Mask Reply	使用しない ▼

保存

PROXY ARP

「使用する」 / 「使用しない」をプルダウンから選択します。

PROXY ARP	使用しない ▼ 使用しない 使用する
-----------	--------------------------

Directed Broadcast

「使用する」を選択すると、該当するインタフェースにおいて、Directed Broadcastの転送を許可します。

「使用する」 / 「使用しない」をプルダウンから選択します。

Directed Broadcast	使用しない ▼ 使用しない 使用する
--------------------	--------------------------

Directed Broadcast

IPアドレスのホスト部がすべて1のIPアドレスのことです。

(例) 192.168.0.0/24のDirected Broadcastは、192.168.0.255です。

ICMP Redirects

「使用する」を選択すると、該当するインタフェースにおいて、ICMP Redirectsを送出します。

「使用する」 / 「使用しない」をプルダウンから選択します。

ICMP Redirects	使用する ▼ 使用しない 使用する
----------------	-------------------------

ICMP Redirects

他に適切な経路があることを通知するICMPパケットのことです。

ICMP Mask Reply

「使用する」 / 「使用しない」をプルダウンから選択します。

ICMP Mask Reply	使用しない ▼ 使用しない 使用する
-----------------	--------------------------

ネットワーク監視装置によっては、LAN内装置の監視をICMP Address Maskの送受信によって行う場合があります。「使用する」を選択すると、該当するインタフェースにて受信したICMP Address Mask Request (type=17)に対して、Reply(type=18)を返送し、インタフェースのサブネットマスク値を通知します。「使用しない」を選択すると、Requestに対して応答しません。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第5章 インタフェース設定

. Ethernet I/F

PPPoE

PPPoE	編集
-------	----

「編集」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

ethernet1	PPPoE
接続1	(未設定) ▼
接続2	(未設定) ▼
接続3	(未設定) ▼
接続4	(未設定) ▼
接続5	(未設定) ▼

接続番号を選択し、プルダウンからインタフェースを選択します。

接続1	(未設定) ▼
	(未設定)
	ppp0
	ppp1
	ppp2
	ppp3
	ppp4

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

PPPoE 接続の設定については、「第5章 インタフェース設定 の II.PPP /IF」を参照してください。

フィルタ

フィルタ	編集
------	----

「編集」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

ethernet1	フィルタ
IPv4フィルタ	
入力フィルタ	
出力フィルタ	
転送(入力時)フィルタ	
転送(出力時)フィルタ	

[IPv4 フィルタ]

入力フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

出力フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

転送(入力時)フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

転送(出力時)フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

フィルタの設定については、「第8章 ファイアウォール」を参照してください。

第5章 インタフェース設定

. PPP I/F

1. PPP アカウント

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

インタフェース

PPP I/F

・ PPP アカウント

PPP アカウント

インタフェース	サービス名	アカウント名	認証方式	編集	削除
ppp0		userid	chap	編集	削除

(未設定)

追加

PPP アカウントの追加

「追加」をクリックします。

インタフェース	ppp0
認証方式	CHAP
サービス名	
アカウント名	
パスワード	

インタフェース

使用するインタフェースをプルダウンから選択します。

インタフェース	ppp0
---------	------

認証方式

認証方式をプルダウンから選択します。

認証方式	CHAP
------	------

サービス名

サービス名を入力します。

アカウント名

プロバイダから指定されたアカウントを入力してください。

パスワード

プロバイダから指定された接続パスワードを入力してください。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

PPPアカウントの編集

インタフェース	サービス名	アカウント名	認証方式	編集	削除
ppp0		userid	chap	編集	削除

PPPアカウントを編集するには「編集」をクリックします。

ppp0	認証方式	CHAP
サービス名		
アカウント名		userid
パスワード		*****
TCP/IP		編集
PPP		編集
インタフェース		編集
フィルタ		編集

TCP/IP

TCP/IP	編集
--------	----

「編集」をクリックします。

ppp0	TCP/IP
IPアドレス割当方式	自動
IPアドレス	
ICMP Redirects	使用する
ICMP Mask Reply	使用しない

IPアドレス割当方式

「自動」/「固定アドレス」をプルダウンから選択します。

IPアドレス割当方式	自動
------------	----

IPアドレス

「固定アドレス」を選択した場合に、入力します。

ICMP Redirects

「使用する」を選択すると、該当するインタフェースにおいて、ICMP Redirectsを送出します。

「使用する」/「使用しない」をプルダウンから選択します。

ICMP Redirects	使用する
----------------	------

ICMP Redirects

他に適切な経路があることを通知するICMPパケットのことで。

第5章 インタフェース設定

. PPP I/F

ICMP Mask Reply

「使用する」 / 「使用しない」をプルダウンから選択します。

ICMP Mask Reply	使用しない ▼
	使用しない
	使用する

ネットワーク監視装置によっては、LAN内装置の監視をICMP Address Maskの送受信によって行う場合があります。「使用する」を選択すると、該当するインタフェースにて受信したICMP Address Mask Request (type=17)に対して、Reply(type=18)を返送し、インタフェースのサブネットマスク値を通知します。「使用しない」を選択すると、Requestに対して応答しません。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

PPP

PPP	編集
-----	----

「編集」をクリックします。

ppp0	PPP
セッション	
自動接続	有効 ▼
リトライ間隔	60
IPCP	使用する ▼
DNSサーバ	
設定方法	プロバイダから自動割り当て ▼
プライマリサーバ	
セカンダリサーバ	

[セッション]

自動接続

「有効」 / 「無効」をプルダウンから選択します。

自動接続	有効 ▼
	有効
	無効

リトライ間隔

30-600[秒]の間で設定します。デフォルト値は60[秒]です。

IPCP

「使用する」 / 「使用しない」をプルダウンから選択します。

IPCP	使用する ▼
	使用しない
	使用する

[DNSサーバ]

設定方法

特に指定のない場合は、「プロバイダから自動割り当て」を選択します。

指定されている場合は「手で設定」を選択して、DNSサーバのIPアドレスを入力します。

プロバイダからDNSアドレスを自動割り当てされても、そのアドレスを使用しない場合は「割り当てられたDNSを使わない」を選択します。この場合は、LAN側の各ホストにDNSサーバのアドレスをそれぞれ設定しておく必要があります。

設定方法	プロバイダから自動割り当て ▼
	プロバイダから自動割り当て
	割り当てられたDNSを使わない
	手で設定

プライマリサーバ

セカンダリサーバ

「手動で設定」を選択した場合に、DNSサーバの IP アドレスを入力します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第5章 インタフェース設定

. PPP I/F

インタフェース

インタフェース 編集

「編集」をクリックします。

ppp0	インタフェース
MTU	1454
MRU	1454
LCPキープアライブ	
キープアライブ	使用する ▼
送信間隔	30
送信回数	3
ICMPキープアライブ	
キープアライブ	使用しない ▼
送信間隔	
送信回数	
宛先IPアドレス	

MTU

デフォルト値は1454[バイト]です。Bフレッツ・フレッツADSLの場合は、デフォルト値のままでもかまいません。

MRU

デフォルト値は1454[バイト]です。Bフレッツ・フレッツADSLの場合は、デフォルト値のままでもかまいません。

[LCPキープアライブ]

キープアライブ

「使用する」/「使用しない」をプルダウンから選択します。

キープアライブ	使用する ▼
	使用しない
	使用する

送信間隔

キープアライブに使用するLCP echoパケットの送信間隔を指定します。

30-600[秒]の間で設定します。デフォルト値は30[秒]です。

送信回数

LCP echoを指定回数送信して、一度もreplyを受信しなかった場合に、本装置がPPPoEセッションをクローズします。

0-10[回]の間で設定します。デフォルト値は3[回]です。

[ICMPキープアライブ]

キープアライブ

回線によっては、LCP echoを使ったキープアライブを使うことが出来ない場合があります。その場合は、Pingを使ったキープアライブを使用します。「使用する」/「使用しない」をプルダウンから選択します。

キープアライブ	使用しない ▼
	使用しない
	使用する

送信間隔

キープアライブに使用するPingの送信間隔を指定します。

30-600[秒]の間で設定します。デフォルト値は30[秒]です。

送信回数

Pingを指定回数送信して、一度もreplyを受信しなかった場合に、本装置がPPPoEセッションをクローズします。

0-10[回]の間で設定します。デフォルト値は3[回]です。

宛先IPアドレス

Pingの宛先ホストを指定します。空欄にした場合は、P-t-P Gateway宛にPingを送信します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第5章 インタフェース設定

. PPP I/F

フィルタ

フィルタ	編集
------	----

「編集」をクリックします。

ppp0	フィルタ
IPv4フィルタ	
入力フィルタ	<input type="text"/>
出力フィルタ	<input type="text"/>
転送(入力時)フィルタ	<input type="text"/>
転送(出力時)フィルタ	<input type="text"/>

[IPv4 フィルタ]

入力フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

出力フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

転送（入力時）フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

転送（出力時）フィルタ

適用するフィルタ名を入力します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

フィルタの設定については、「第8章 ファイアウォール」を参照してください。

PPP アカウントの削除

インタフェース	サービス名	アカウント名	認証方式	編集	削除
ppp0		userid	chap	編集	削除

PPP アカウントを削除するには「削除」をクリックします。

2. PPPoE

地域 IP 網での工事や不具合、また ADSL 回線の不安定な状態によって、正常に PPPoE 接続が行えなくなることがあります。

これはユーザー側が PPPoE セッションが確立していないことを検知していても、地域 IP 網側はそれを検知していないために、ユーザー側からの新規接続要求を受け入れることができない状態になっていることが原因です。

ここで PPPoE 特殊オプション機能を使うことにより、本装置が PPPoE セッションを確立していないことを検知し、強制的に PADT パケットを地域 IP 網側へ送信して、地域 IP 網側に PPPoE セッションの終了を通知します。

本装置から PADT パケットを送信することで、地域 IP 網側の PPPoE セッション情報がクリアされ、PPPoE の再接続性を高めることができます。

PADT = PPPoE Active Discovery Terminate の略。PPPoE セッションが終了したことを示すパケットです。これにより、PADT を受信した側で該当する PPPoE セッションを終了させます。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

インタフェース
PPP I/F
・ PPPoE

PPPoE

PADT強制送出	
前セッションPADT	有効 ▼
Unknwon IPv4 Packet	有効 ▼
Unknwon LCP-Echo Request	有効 ▼

[PADT 強制送出]

前セッション PADT

回線接続時に前回の PPPoE セッションの PADT を強制送出します。

「有効」 / 「無効」をプルダウンから選択します。

前セッションPADT	有効 ▼
	無効
	有効

Unknwon IPv4 Packet

非接続セッションの IPv4 パケット受信時に PADT を強制送出します。

「有効」 / 「無効」をプルダウンから選択します。

Unknwon IPv4 Packet	有効 ▼
	無効
	有効

Unknwon LCP-Echo Request

非接続セッションの LCP echo request 受信時に PADT を強制送出します。

「有効」 / 「無効」をプルダウンから選択します。

Unknwon LCP-Echo Request	有効 ▼
	無効
	有効

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

地域 IP 網の工事後に PPPoE 接続が出来なくなってしまう事象を回避するためにも、PPPoE 特殊オプション機能を有効にした上で PPPoE 接続をしていただくことを推奨します。

第6章

ネットワーク

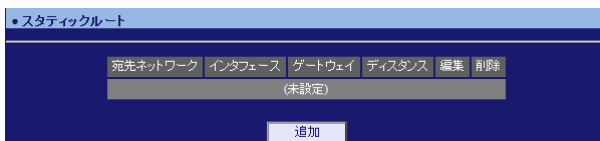
1. スタティックルート

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
ネットワーク

IPv4

- ・スタティックルート

スタティックルート



スタティックルートの追加

「追加」をクリックします。

宛先ネットワーク	<input type="text"/>
インタフェース	指定しない ▼
ゲートウェイ	<input type="text"/>
ディスタンス	<input type="text"/>

宛先ネットワーク

ネットワークアドレス / マスクビット値の形式で入力してください。

[入力例] 192.168.100.0/24
192.168.200.254/32

インタフェース

プルダウンからインタフェースを選択します。

インタフェース	指定しない ▼
	<ul style="list-style-type: none"> 指定しない ethernet0 ethernet1 ethernet2 ppp0 ppp1 ppp2 ppp3 ppp4 null tunnel

VLAN インタフェースを指定する場合は、該当する ethernet インタフェースを選択し、VLAN ID を入力してください。VLAN ID は、1-4094 の間で設定します。

インタフェース	ethernet0 ▼	VLAN ID <input type="text"/>
---------	-------------	------------------------------

ゲートウェイ

インタフェースを「指定しない」に選択した場合、上位ルータの IP アドレスを入力します。

ディスタンス

経路選択の優先順位を指定します。1-255 の間で指定します。値が小さいほど優先度が高くなります。
スタティックルートのデフォルトディスタンス値は1です。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

スタティックルートの編集

「編集」をクリックします。

宛先ネットワーク	インタフェース	ゲートウェイ	ディスタンス	編集	削除
10.0.0.0/8		192.168.1.1		編集	削除

スタティックルートの削除

「削除」をクリックします。

宛先ネットワーク	インタフェース	ゲートウェイ	ディスタンス	編集	削除
10.0.0.0/8		192.168.1.1		編集	削除

2. 固定 ARP

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

ネットワーク

IPv4

・固定 ARP

固定 ARP

IPアドレス	MACアドレス	編集	削除
(未設定)	(未設定)		

追加

固定 ARP の追加

「追加」をクリックします。

IPアドレス	MACアドレス

IP アドレス

[入力例] 192.168.0.1

MAC アドレス

[入力例] 00:11:22:33:44:55

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

固定 ARP の編集

「編集」をクリックします。

IPアドレス	MACアドレス	編集	削除
192.168.0.1	00:11:22:33:44:55	編集	削除

固定 ARP の削除

「削除」をクリックします。

IPアドレス	MACアドレス	編集	削除
192.168.0.1	00:11:22:33:44:55	編集	削除

1. DHCP ネットワーク

DHCP サーバ機能の設定をおこないます。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

ネットワーク

DHCP

・ DHCP ネットワーク

DHCP ネットワーク

DHCP ネットワークの追加

「追加」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

ネットワーク

ネットワーク番号をプルダウンから選択します。

サブネット

DHCP サーバを動作させるネットワーク空間のアドレスを設定します。

[入力例] 172.16.0.0/16

標準リース時間

DHCP クライアントに IP アドレスを割り当てる時間を指定します。

60-15552000[秒]の間で指定します。デフォルト値は 21600[秒]です。

最大リース時間

DHCP クライアントが割り当て時間を要求した時の最大割り当て時間を指定します。指定した値以上のリース時間を要求された場合、リース時間は指定値で設定されます。

60-15552000[秒]の間で指定します。デフォルト値は 43200[秒]です。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第6章 ネットワーク

. DHCP

リースアドレスの設定

リースアドレスを設定するには、DHCP ネットワークの画面で、「編集」をクリックします。

ネットワーク	サブネット	リースアドレス	標準リース時間	編集	削除
1	172.16.0.0/16		21600	編集	削除

追加

リースアドレスの編集

リースアドレスを編集するには、下記の画面で「編集」をクリックします。

リース開始アドレス	リース終了アドレス	編集	削除
172.16.1.1	172.16.1.255	編集	削除

追加

下記の画面が表示されます。

ネットワーク	1
サブネット	172.16.0.0/16
リースアドレス	表示
標準リース時間	21600
最大リース時間	43200
オプション	編集

保存

リースアドレスの削除

リースアドレスを削除するには、下記の画面で「削除」をクリックします。

リース開始アドレス	リース終了アドレス	編集	削除
172.16.1.1	172.16.1.255	編集	削除

追加

リースアドレス

「表示」をクリックします。

リースアドレス	表示
---------	----

下記の画面が表示されるので、「追加」をクリックします。

リース開始アドレス	リース終了アドレス	編集	削除
(未設定)			

追加

リースアドレスの追加

DHCP ネットワークの一つのサブネット内に、複数のリースアドレスを設定することができます。リースアドレスは、最大で16個設定することができます。

リースアドレスを追加するには、下記の画面で「追加」をクリックします。

リース開始アドレス	リース終了アドレス	編集	削除
172.16.1.1	172.16.1.255	編集	削除

追加

リース開始アドレス / リース終了アドレス

リース開始アドレス	
リース終了アドレス	

保存

DHCP クライアントに割り当てる最初と最後の IP アドレスを指定します。両項目で設定した範囲の IP アドレスが、DHCP クライアントに割り当てられません。設定を保存するには、「保存」をクリックします。

オプションの編集

オプションの設定 / 編集をするには、DHCP ネットワークの画面で、「編集」をクリックします。

ネットワーク	サブネット	リースアドレス	標準リース時間	編集	削除
1	172.16.0.0/16		21600	編集	削除

追加

下記の画面が表示されます。

ネットワーク	1
サブネット	172.16.0.0/16
リースアドレス	表示
標準リース時間	21600
最大リース時間	43200
オプション	編集

保存

オプション

オプション「編集」をクリックします。

オプション	編集
-------	----

下記の画面が表示されます。

ゲートウェイ	
ドメイン	
プライマリDNSサーバ	
セカンダリDNSサーバ	
プライマリWINSサーバ	
セカンダリWINSサーバ	
スコープID	
プライマリSIPサーバ	
セカンダリSIPサーバ	

保存

ゲートウェイ

DHCPクライアントのデフォルトゲートウェイとなるアドレスを入力してください。通常は、NXR のインタフェースの IP アドレスを指定します。

ドメイン

DHCPクライアントに割り当てるドメイン名を指定します（任意で指定）。

プライマリ DNS サーバ / セカンダリ DNS サーバ
DHCP クライアントに割り当てる DNS サーバアドレスを指定します（任意で指定）。

プライマリ WINS サーバ / セカンダリ WINS サーバ
DHCP クライアントに割り当てる WINS サーバの IP アドレスを指定します。

スコープ ID

NetBIOS スコープ ID を配布できます。TCP/IP を介して NetBIOS を実行しているコンピュータでは、同じ NetBIOS スコープ ID を使用するほかのコンピュータとのみ NetBIOS 情報を交換することができます。

プライマリ SIPサーバ / セカンダリ SIPサーバ
DHCPクライアントからの SIPサーバ要求に対して、SIPサーバアドレスを割り当てます。
指定可能なアドレスは、IPv4 アドレスまたは FQDN で、最大2つまで設定することができます。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

2. DHCP ホスト

DHCP サーバ機能で、固定 IP アドレスを割り当てる場合の設定をおこないます。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。
ネットワーク

DHCP

・ DHCP ホスト

DHCP ホスト



DHCP ホストの追加

「追加」をクリックします。

MACアドレス	<input type="text"/>
IPアドレス	<input type="text"/>

MAC アドレス

PC に装着されている LAN ボードなどの MAC アドレスを入力します。

[入力例] 00:11:22:33:ff:ff

IP アドレス

割り当てる IP アドレスを指定します。

[入力例] 172.16.0.200

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

DHCP ホストの編集

「編集」をクリックします。

MACアドレス	IPアドレス	編集	削除
00:11:22:33:44:55	172.16.0.200	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

DHCP ホストの削除

「削除」をクリックします。

DHCP サーバ機能で、固定 IP アドレスを割り当てる場合でも、DHCP ネットワーク設定は必要です。その場合は、「DHCP サーバ設定」画面の「リース開始アドレス」「リース終了アドレス」に、「DHCP ホスト」で指定したアドレス範囲の先頭と末尾の IP アドレスを指定してください。

3. DHCP リレー

DHCP サーバと DHCP クライアントは、通常同じネットワークにないと通信できません。しかし、DHCP リレー機能を使うことで、異なるネットワークにある DHCP サーバを利用できるようになります。(NXR が DHCP クライアントからの要求と DHCP サーバからの応答を中継します。)

NAT 機能を使用している場合は、DHCP リレー機能は使用できません。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。
ネットワーク

DHCP

・ DHCP リレー

DHCP リレー



DHCP サーバアドレス

上位の DHCP サーバの IP アドレスを指定します。

DHCP 受信インターフェース

DHCP サーバ機能と同時に運用する場合を考慮して、クライアントからの BOOTP Request パケットを受信するインターフェースを指定することができます。

DHCP受信インターフェース	指定しない
DHCP受信インターフェース	指定しない ethernet0 ethernet1

プルダウンから、該当するインターフェース(または「指定しない」)を選択します。

指定したインターフェース以外で受信した BOOTP Request はドロップされます。

指定しない場合は、どのインターフェースで BOOTP Request パケットを受信してもリレーされます。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

DNS

LAN内の各ホストのDNSサーバ設定に本装置のIPアドレスを指定することによって、ISPから指定されたDNSサーバや任意のDNSサーバへリレーすることができます。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
ネットワーク

・DNS

DNS

起動 / 停止

サービスの「起動」/「停止」をプルダウンから選択します。

タイムアウト

DNSサーバへの問い合わせが無応答の場合のタイムアウトを設定します。

5-30[秒]で設定できます。初期設定は30秒です。使用環境によっては、DNSキャッシュのタイムアウトよりもブラウザなどのアプリケーションのタイムアウトが早く発生する場合があります。この場合は、DNSキャッシュのタイムアウトを調整してください。

ルートDNS転送

設定したDNSサーバへの問い合わせに失敗した場合や、DNSサーバの指定が無い場合に、ルートサーバへ問い合わせをするかどうかを設定します。プルダウンから「有効」/「無効」を選択します。

[DNSサーバ]

サーバアドレス

任意のDNSサーバのIPアドレスを入力してください。

PPPoE接続時、ISPから指定されたDNSサーバへリレーする場合は本設定の必要はありません。

[プライオリティ]

ユーザ

ppp0/ppp1/ppp2/ppp3/ppp4

DHCPクライアント

1-20の間で設定します。デフォルト値は20です。同一プライオリティの場合の優先順位は、下記のとおりです。

ユーザ > ppp4 > ppp3 > ppp2 > ppp1 > ppp0 > DHCP

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

WarpLink

WarpLinkサービスのクライアントとして動作します（WarpLink Manager に対して、本装置の機器情報を HTTPS で送信します）。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。
ネットワーク

- ・WarpLink

WarpLink

起動 / 停止

サービスの「起動」 / 「停止」をプルダウンから選択します。デフォルトは「停止」です。

- ・「起動」を選択すると、ダイナミック DNS が有効になり、本装置の WAN 側 IP アドレスを定期的（5 分間隔）に送信します。

ユーザー名

WarpLinkサービスのユーザー ID を入力します。

パスワード

WarpLinkサービスのパスワードを入力します。

Syslog 情報送信

Syslog 情報送信の「有効」 / 「無効」をプルダウンから選択します。デフォルトは「無効」です。

- ・「有効」を選択すると、本装置の syslog 情報を定期的（5 分間隔）に送信します。
- ・サービスが停止（ダイナミック DNS が無効）の場合は、syslog 情報は送信されません。
- ・syslog 情報は、前回からの差分を最大 100 キロバイト まで送信します。

統計情報インタフェース

統計情報インタフェースをプルダウンで指定します。デフォルトは「指定しない」です。

- ・インタフェースを指定すると、本装置の CPU 使用率、メモリ使用率および当該インタフェースのトラフィック量を定期的（5 分間隔）に送信します。
- ・サービスが停止（ダイナミック DNS が無効）の場合は、統計情報は送信されません。
- ・統計情報は、30 秒間隔で取得したデータの 3 分間の平均を 3 日分保持します。
- ・インタフェースは、2 つまで指定することができます。未指定の場合、統計情報は送信されません。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

NTP

本装置は、NTPサーバ/クライアント機能を持っています。インターネットを使った時刻同期手法の一つであるNTP(Network Time Protocol)を用いてNTPサーバと通信を行い、時刻を同期させることができます。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
ネットワーク

- ・NTP

NTP

起動 / 停止

サービスの「起動」/「停止」をプルダウンから選択します。

同期タイムアウト

サーバ応答の最大待ち時間を1-30[秒]の間で設定できます。

[プライマリ]

アドレス

NTPサーバのIPアドレスを入力します。
NTPサーバのIPアドレスを入力しない場合は、本装置はNTPサーバとしてのみ動作します。

(ポーリング最小値)

4-16の間で指定します。デフォルト値は6です。

(ポーリング最大値)

5-17の間で指定します。デフォルト値は10です。

「(ポーリング最小値)」「(ポーリング最大値)」によって、NTPサーバと通信をおこなう間隔を設定します。

サーバとの接続状態により、指定した最小値と最大値の範囲でポーリングの間隔を調整します。

Polling 間隔 X(sec)を指定した場合、秒単位での間隔は2のX乗(秒)となります。

< 例 4:16 秒、6:64 秒、... 10:1024 秒 >

[セカンダリ]

アドレス

(ポーリング最小値) / (ポーリング最大値)
必要に応じて、プライマリと同様に設定します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第7章

VPN

1. IPsec トンネル

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

VPN

IPsec

・ IPsec トンネル

IPsec トンネル

IPsec トンネル									
説明	番号	本装置側		相手側		状態	編集	削除	複製
		LAN側	ID又はアドレス	ID又はアドレス	LAN側				
(未設定)									
<input type="button" value="更新"/>									
<input type="button" value="追加"/>									

IPsec トンネルの追加

IPsec トンネルを追加するには、「追加」をクリックします。

「追加」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

IPsec トンネル	
設定の追加	
説明	<input type="text"/>
相手装置の設定	
ISAKMP動作モード	固定 <input type="button" value="v"/>
リモートアドレス	<input type="text"/>
リモートID	<input type="text"/>
認証鍵(Pre-Shared Key)	<input type="text"/>
キーブアライブ	再接続 <input type="button" value="v"/>
自装置の設定	
自分のID	<input type="text"/>
インタフェース	(選択して下さい) <input type="button" value="v"/>
トンネルの設定	
トンネルモード	ルートベース <input type="button" value="v"/>
送信元アドレス	<input type="text"/>
宛先アドレス	<input type="text"/>
接続方法	自動 <input type="button" value="v"/>
NATトラバース	使用しない <input type="button" value="v"/>
経路情報の設定	
追加する経路情報	<input type="text"/>
<input type="button" value="保存"/>	

説明

IPsec トンネルの説明を記述します。

説明	<input type="text" value="vpn1"/>
----	-----------------------------------

- ・ 1 ~ 64 文字の半角英数字 / 記号を使用することが出来ます。

【相手装置の設定】

ISAKMP 動作モード

ISAKMP 動作モード (「固定」 / 「動的」) を、プルダウンから選択します。

ISAKMP動作モード	固定 <input type="button" value="v"/>
	<input type="button" value="固定"/> <input type="button" value="動的"/>

- ・ 本装置とリモート (対向装置) が、どちらも固定 IP アドレスの場合は、「固定」を選択します。
- ・ 本装置またはリモート (対向装置) のどちらか一方が、動的 IP アドレスの場合は、「動的」を選択します。

リモートアドレス

リモートアドレス (対向装置の IPv4 アドレス) を A.B.C.D のフォーマットで入力します。

リモートアドレス	<input type="text" value="192.168.1.254"/>
----------	--

- ・ リモートアドレスが、動的 IP アドレスの場合は、空欄にします。

リモート ID

リモート ID (対向装置の ID) を、FQDN 形式で入力します。

リモートID	<input type="text" value="nxr2"/>
--------	-----------------------------------

- ・ 未設定時は、リモートアドレスを、リモート ID として使用します。

【自装置の設定】

自分の ID

本装置の ID を、FQDN 形式で入力します。

自分のID | nxr1

インタフェース

IPsec で使用するインタフェースを、プルダウンから選択します。

自分のID | nxr1
 (選択して下さい) ▼
 (選択して下さい)
 ethernet0
 ethernet1
 ppp0
 ppp1
 ppp2
 ppp3
 ppp4

認証鍵 (Pre-Shared Key)

PSK 認証で使用する認証鍵を設定します。

認証鍵(Pre-Shared Key) | password

- ・ リモート (対向装置) でも、同じ認証鍵を設定します。

キーブアライブ

IPsec キーブアライブの設定を、プルダウンから選択します。

キーブアライブ | 使用しない ▼
 再接続
 クリア
 ホールド
 使用しない

- ・ キーブアライブを使用する場合、DPD エラー時のアクション設定として、「再接続」/「クリア」/「ホールド」を選択します。
- ・ キーブアライブを使用しない場合、「使用しない」を選択します。

キーブアライブ

キーブアライブ (DPD) でエラーを検出した場合、IKE SA および IPsec policy を削除します。

その後の動作は、DPD エラー時のアクション設定に依存します。

「クリア」

IKE SA および IPsec policy の削除後は、ユーザの指示を待ちます。

「ホールド」

IKE SA の削除後は、IPsec policy のみが有効になります。IPsec policy にマッチするパケットを受信すると IKE phase1 ネゴシエーションを開始します。

ただし、「接続方法」でレスポnderに設定している場合は、IKE ネゴシエーションしません。

「再接続」

IKE SA および IPsec policy の削除後に、IKE phase1 を開始します。

ただし、「接続方法」でレスポnderに設定している場合は、IKE ネゴシエーションしません。

[トンネルの設定]

トンネルモード

トンネルモードの設定を、プルダウンから選択します。

トンネルモード	ルートベース ルートベース ポリシーベース
---------	-----------------------------

「ポリシーベース」

ポリシーベースとして動作する場合、ルーティングテーブルに関係なく、ポリシーにマッチするパケットは、すべてESP化されます。

IPsec ESP化されるパケットに対して、フィルタリングやNATを行うことは出来ません。

「ルートベース」

ルートベースとして動作する場合、「追加する経路情報」の設定に従って、ESP化するかどうかを決定します。

迂回経路の確保やmain/backup tunnelの常時確立が出来る等の利点があります。

送信元アドレス

送信元アドレス（LAN側ネットワークアドレス）を設定します。

送信元アドレス	1.1.1.0/24
---------	------------

宛先アドレス

宛先アドレス（LAN側ネットワークアドレス）を設定します。

宛先アドレス	2.2.2.0/24
--------	------------

接続方法

接続方法の設定を、プルダウンから選択します。

接続方法	自動 自動 手動 オンデマンド レスポンダー
------	------------------------------------

「自動」

IPsecサービス起動時に、ネゴシエーションを開始します。

「手動」

IPsecサービス起動時に、(tunnel を追加するだけで)ネゴシエーションを開始しません。Backup policyなどで使用します。

「オンデマンド」

IPsecサービス起動時に、ルートのみを設定します。

「レスポナー」

IPsecサービス起動時の動作は、「手動」と同様です。

ただし、いかなる場合（rekeyを含む）においても、こちらから開始することはありません。

NATトラバーサル

NATトラバーサルの設定を、プルダウンから選択します。

NATトラバーサル	使用しない 使用しない 使用する
-----------	------------------------

- ・NAT装置の配下に、本装置が設置されている状態で、IPsec接続を行う場合は、「使用する」を選択します。

[経路情報の設定]

追加する経路情報

IPsec ESP化するパケットの宛先アドレス（LAN側ネットワークアドレス）を追加します。

追加する経路情報

- ・トンネルモードで「ルートベース」を選択した場合に、設定することが出来ます。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

IPsec トンネルの状態

IPsecトンネル							更新			
説明	番号	本装置側		相手側		状態	編集	削除	複製	
		LAN側	ID又はアドレス	ID又はアドレス	LAN側					
vpn1	1	1.1.1.0/24	nrx1	nrx2	2.2.2.0/24	表示	編集	削除	複製	
追加										

「表示」をクリックすると、IPsec トンネルの状態を表示します。

```

IPsecトンネル
情報表示 (tunnel 1)
更新 閉じる

000 "tunnel1": 1.1.1.0/24===1.2.3.120[nrx1]...1.2.3.4[nrx2]===2.2.2.0/24; erouted; es
000 "tunnel1": ike_life: 10800s; ipsec_life: 3600s; margin: 270s; inc_ratio: 100%
000 "tunnel1": newest ISAKMP SA: #3; newest IPsec SA: #4;
000 "tunnel1": IKE proposal: AES_CBC_128/HMAC_SHA2_256/MD5_1024
000 "tunnel1": ESP proposal: AES_CBC_128/HMAC_SHA2_256/
000
000 #4: "tunnel1" STATE_QUICK_R2 (IPsec SA established); EVENT_SA_REPLACE in 545s; new
000 #4: "tunnel1" esp.3b543803@1.2.3.4 (0 bytes) esp.308d6407@1.2.3.120 (0 bytes); tun
000 #3: "tunnel1" STATE_MAIN_R3 (sent MR3, ISAKMP SA established); EVENT_SA_REPLACE in
000 #2: "tunnel1" STATE_QUICK_I2 (sent QI2, IPsec SA established); EVENT_SA_REPLACE in
000 #2: "tunnel1" esp.59015d85@1.2.3.4 (0 bytes) esp.27a13dia@1.2.3.120 (0 bytes); tun
000 #1: "tunnel1" STATE_MAIN_I4 (ISAKMP SA established); EVENT_SA_REPLACE in 7364s
000
Connections:
Security Associations:
no match

```

- ・「更新」をクリックすると、最新の状態を取得することが出来ます。
- ・「閉じる」をクリックすると、画面を閉じます。

IPsec トンネルの編集（基本設定）

「編集」をクリックすると、IPsec トンネルの基本設定を編集することが出来ます。

IPsecトンネル							更新		
説明	番号	本装置側 LAN側 ID又はアドレス	相手側 ID又はアドレス	LAN側	状態	編集	削除	複製	
vpn1	1	1.1.1.0/24	nrx1	nrx2	2.2.2.0/24	表示	編集	削除	複製

下記画面にて、各項目の編集を行います。

IPsecトンネル	
トンネル1 基本設定 詳細設定	
説明	vpn1
相手装置の設定	
ISAKMP動作モード	固定
リモートアドレス	1.2.3.4
リモートID	nrx2
認証鍵(Pre-Shared Key)	password
キーブライブ	再接続
自装置の設定	
自分のID	nrx1
インタフェース	ethernet1
トンネルの設定	
トンネルモード	ルートベース
送信元アドレス	1.1.1.0/24
宛先アドレス	2.2.2.0/24
接続方法	自動
NATトランパサル	使用しない
経路情報の設定	
追加する経路情報	
<input type="checkbox"/> 削除	3.3.3.0/24
保存	

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

経路情報を削除するには、「削除」のチェックボックスをチェックして、「保存」をクリックします。

<input checked="" type="checkbox"/> 削除	3.3.3.0/24
保存	

IPsec トンネルの編集（詳細設定）

「詳細設定」をクリックすると、IPsec トンネルの詳細設定を編集することが出来ます。

IPsecトンネル	
トンネル1 基本設定	詳細設定

[相手装置の設定]

ハッシュアルゴリズム

プルダウンから、ハッシュアルゴリズムを選択します。

・初期値は、「SHA256」です。

ハッシュアルゴリズム	SHA256
------------	--------

暗号化アルゴリズム

プルダウンから、暗号化アルゴリズムを選択します。

・初期値は、「AES128」です。

暗号化アルゴリズム	AES128
-----------	--------

DHグループ

プルダウンから、DHグループを選択します。

・初期値は、DHグループ「2」です。

DHグループ	2
--------	---

ライフタイム

ライフタイム (121-86400[sec]) を設定します。

・初期値は、「10800」です。

ライフタイム	10800
--------	-------

IPsec

インターバル

キーブアライブインターバル (10-3600[sec]) を設定します。

- ・初期値は「30」秒です。

インターバル

回数

キーブアライブのリトライ回数 (0-60[回]) を設定します。

- ・初期値は、「3」回です。

回数

[トンネルの設定]

プライオリティー

トンネルポリシーのプライオリティ (1-255) を設定します。

- ・初期値は、「1」です。

プライオリティー

認証アルゴリズム

プルダウンから、認証アルゴリズムを選択します。

- ・初期値は、「ESP-AES128」です。

認証アルゴリズム

- ESP-AES128
- ESP-AES192
- ESP-AES256
- ESP-DES
- ESP-3DES
- ESP-NULL

暗号化アルゴリズム

プルダウンから、暗号化アルゴリズムを選択します。

- ・初期値は、「ESP-SHA256-HMAC」です。

暗号化アルゴリズム

- ESP-SHA256-HMAC
- ESP-SHA1-HMAC
- ESP-MD5-HMAC
- ESP-SHA256-HMAC
- ESP-SHA384-HMAC
- ESP-SHA512-HMAC

PFS(DHグループ)

プルダウンから、PFS(DHグループ)を選択します。

- ・初期値は、「Phase1」です。

PFS(DHグループ)

- Phase1
- Group1
- Group2
- Group5
- Group14
- Group15
- Group16
- Group17
- Group18
- 使用しない

SA ライフタイム

IPsec SA のライフタイム (1081-86400[sec]) を設定します。

- ・初期値は、「3600」です。

SA ライフタイム

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

IPsec トンネルの削除

「削除」をクリックすると、トンネルを削除することが出来ます。

IPsecトンネル									
説明	番号	本装置側		相手側		状態	編集	削除	複製
		LAN側	ID又はアドレス	ID又はアドレス	LAN側				
vpn1	1	1.1.1.0/24	nrx1	nrx2	2.2.2.0/24	表示	編集	削除	複製
追加									

IPsec トンネルの複製

「設定の複製」をクリックすると、既存設定の複製を作成することが出来ます。

IPsecトンネル									
説明	番号	本装置側		相手側		状態	編集	削除	複製
		LAN側	ID又はアドレス	ID又はアドレス	LAN側				
vpn1	1	1.1.1.0/24	nrx1	nrx2	2.2.2.0/24	表示	編集	削除	複製
追加									

下記画面にて、項目の編集を行います。

IPsecトンネル	
設定の複製	
説明	Copy_of_vpn1
相手装置の設定	
ISAKMPポリシー	追加する
ISAKMP動作モード	固定
リモートアドレス	1.2.3.4
リモートID	nrx2
認証鍵(Pre-Shared Key)	password
キーブアライブ	クリア
自装置の設定	
設定	追加する
自分のID	nrx1
インターフェース	ethernet1
トンネルの設定	
トンネルモード	ルートベース
送信元アドレス	1.1.1.0/24
宛先アドレス	2.2.2.0/24
接続方法	自動
NATトラバース	使用しない
経路情報の設定	
追加する経路情報	
保存	

「保存」をクリックすると、設定の複製が作成されます。

IPsecトンネル									
説明	番号	本装置側		相手側		状態	編集	削除	複製
		LAN側	ID又はアドレス	ID又はアドレス	LAN側				
vpn1	1	1.1.1.0/24	nrx1	nrx2	2.2.2.0/24	表示	編集	削除	複製
Copy_of_vpn1	2	1.1.1.0/24	nrx1	nrx3	3.3.3.0/24	表示	編集	削除	複製
追加									

2. IPsec 全体設定

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

VPN

IPsec

- ・ IPsec 全体設定

IPsec 全体設定

● IPsec全体設定	
NATトラバース	使用しない ▼
Priority Ignore	使用しない ▼
保存	

NATトラバース

「使用する」「使用しない」をプルダウンから選択します。

NATトラバース	使用しない ▼
	使用しない
	使用する

- ・ NAT 装置の配下に、本装置が設置されている状況で、IPsec 接続を行う場合は、「使用する」を選択します。

Priority Ignore

「使用する」「使用しない」をプルダウンから選択します。

Priority Ignore	使用しない ▼
	使用しない
	使用する

Priority Ignore

PriorityによるIPsec SAの優先度を無効にする機能です。

「ルートベース」を利用している場合のみ有効です。

- ・ 「ルートベース」では、phase2のIDは、IPsec SAを確立するためのIDとしてのみ使用します。そのため、Priorityによる冗長化etcの機能を利用しない場合は、本機能を有効にすることによって、同じphase2 IDを持つ複数個のIPsec SAを同時に確立することが出来ます。
- ・ ルートベースIPsec間、またはルートベースIPsecとポリシーベースIPsec間での重複が可能です。ポリシーベースIPsec間での重複は出来ません。
- ・ 本機能は、ISPのVPNサービスetcで、phase2のIDをany/anyで指定するような場合に、利用することが出来ます。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

第8章

ファイアウォール

第8章 ファイアウォール

アクセスリスト

1. IPv4 アクセスリスト

IPv4 アクセスリストの設定をおこないます。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

ファイアウォール

アクセスリスト

・ IPv4 アクセスリスト

IPv4 アクセスリスト

IPv4アクセスリスト								
アクセスリスト名	動作	送信元アドレス 宛先アドレス	プロトコル	ICMP Type Code	送信元ポート 宛先ポート	TCP Syn	送信元MACアドレス	編集 削除
(未設定)								
追加								

IPv4 アクセスリストの追加

「追加」をクリックします。

アクセスリスト名	<input type="text"/>
動作	許可
送信元アドレス	<input type="text"/>
宛先アドレス	<input type="text"/>
プロトコル	
プロトコル	全て
プロトコル	<input type="text"/>
ICMPオプション	
ICMP Type	<input type="text"/>
ICMP Code	<input type="text"/>
送信元ポート	
開始ポート	<input type="text"/>
終了ポート	<input type="text"/>
宛先ポート	
開始ポート	<input type="text"/>
終了ポート	<input type="text"/>
TCPオプション	
TCP Syn	無効
送信元MACアドレス	
送信元MACアドレス	<input type="text"/>

アクセスリスト名

アクセスリスト名を指定します。

動作

アクセスリストにマッチングするパケットの「許可」/「破棄」をプルダウンから選択します。

動作	許可
	許可
	破棄

送信元アドレス

送信元 IP アドレスを入力します。ホストアドレスのほか、ネットワークアドレスでの指定が可能です。

[入力例]

ホストアドレス 192.168.253.10

ネットワークアドレス 192.168.253.0/24

any の場合は、空欄のままにします。

宛先アドレス

宛先 IP アドレスを入力します。ホストアドレスのほか、ネットワークアドレスでの指定が可能です。入力方法は、「送信元アドレス」と同様です。

[プロトコル]

プロトコル

プロトコルをプルダウンから選択します。

プロトコル	全て
	全て
	ICMP
	TCP
	UDP
	数値指定

プロトコル

上記で「数値指定」を選択した場合に、プロトコル番号 <0-255> を入力します。

プロトコル	数値指定
プロトコル	6

[ICMP オプション]

ICMP Type

0-255 の範囲で ICMP Type を指定します。

「プロトコル」で「ICMP」を選択した場合に、入力可能です。

ICMP Code

0-255 の範囲で ICMP Code を指定します。

「プロトコル」で「ICMP」を選択した場合に、入力可能です。

第8章 ファイアウォール

アクセスリスト

[送信元ポート]

開始ポート / 終了ポート

1-65535 の範囲で指定します。

「プロトコル」で「TCP」 / 「UDP」を選択した場合に、入力可能です。

[宛先ポート]

開始ポート / 終了ポート

1-65535 の範囲で指定します。

「プロトコル」で「TCP」 / 「UDP」を選択した場合に、入力可能です。

[TCP オプション]

TCP Syn

Syn フラグをチェックする場合は「SYN」を選択してください。

「プロトコル」で「TCP」を選択した場合に、選択可能です。

TCP Syn	無効
	無効
	SYN

[送信元 MAC アドレス]

送信元 MAC アドレス

送信元 MAC アドレスをチェックする場合は、対象 MAC アドレスを HH:HH:HH:HH:HH:HH のフォーマットで入力します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

IPv4 アクセスリストの編集

「編集」をクリックします。

アクセスリスト名	動作	送信元アドレス		プロトコル	ICMP		送信元ポート		TCP	送信元MACアドレス	編集
		宛先アドレス	Type		Code	宛先ポート	Syn				
test1 削除	許可	192.168.0.0/24	tcp				1025-65535			00:11:22:33:44:55	編集
		192.168.100.0/24					削除				

IPv4 アクセスリストの削除

「削除」をクリックします。

アクセスリスト名	動作	送信元アドレス		プロトコル	ICMP		送信元ポート		TCP	送信元MACアドレス	編集
		宛先アドレス	Type		Code	宛先ポート	Syn				
test1 削除	許可	192.168.0.0/24	tcp				1025-65535			00:11:22:33:44:55	編集
		192.168.100.0/24					削除				

第9章

ユーザインタフェース

1. SSH サービス

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
ユーザインタフェース

SSH

・SSH サービス

SSH サービス

IP アドレス割当方式

「起動」 / 「停止」をプルダウンから選択します。

SSHバージョン

「SSHv1/SSHv2」 / 「SSHv1」 / 「SSHv2」をプルダウンから選択します。

address ファミリ

「IPv4/IPv6」 / 「IPv4」 / 「IPv6」をプルダウンから選択します。

[ポート番号]

ポート番号

SSHサーバのポート番号を指定します。デフォルト値は22です。

ポート番号

SSHサーバのセカンダリポート番号を指定します。

2. SSH 鍵(netconf)

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
ユーザインタフェース

SSH

・SSH 鍵(netconf)

SSH 鍵 (netconf)

SSH 鍵の追加

「参照」をクリックして、ファイル(SSH公開鍵)を指定します。「保存」をクリックすると、SSH鍵が設定されます。

SSH 鍵の削除

「削除」をクリックします。

1. NETCONF

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

ユーザインタフェース

NETCONF

・NETCONF

NETCONF

NETCONF	
サービス	停止
lockタイムアウト	60
auto configuration	使用しない

保存

サービス

NETCONF サービスの「起動」/「停止」を設定します。

プルダウンから「停止」/「TCP サービス起動」/「OverSSH 有効」を選択します。

サービス	停止
	停止
	TCPサービス起動
	OverSSH有効

lock タイムアウト

NETCONF による設定変更時に lock が行われます。lock 状態では、他の管理サーバまたは CLI/GUI からの設定変更は出来ません。また、CLI/GUI あるいは他の管理サーバから設定変更が行われている状態では、lock を行うことは出来ません。lock 状態が解除されるまでの時間を 10-3600[秒]の間で設定します。デフォルト値は 60[秒]です。

auto configuration

auto configuration の「有効」/「無効」を設定します。

プルダウンから「使用しない」/「使用する」を選択します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

1. CRP グローバル

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
ユーザインタフェース

CRP

・CRP グローバル

CRP グローバル

送信元ポート	10625
ホスト名	
カスタマーID	
CPE ID	
CRP Advertise	編集

保存

送信元ポート

CRPの送信元UDPポートを1024-65535の間で設定します。デフォルト値は、10625です。

ホスト名

広告するホスト名を指定します。設定がない場合、システム設定

・ホスト名

で指定されたホスト名を広告します。

カスタマーID

カスタマーIDを指定します。管理サーバ側のテナントコードと一致させてください。

CPE ID

CPE IDを指定します。管理サーバ側の機器コードと一致させてください。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

CRP Advertise

「編集」をクリックします。

モード	無効
primary	
アドレスfamily	(指定しない)
インタフェース	指定しない
アドレス	
ポート番号	
secondary	
アドレスfamily	(指定しない)
インタフェース	指定しない
ポート番号	

保存

モード

プルダウンから「無効」/「インタフェース」/「アドレス」/「NAT」を選択します。

第9章 ユーザインタフェース

CRP

[primary]

アドレス family

「モード」で「インタフェース」を選択した場合に設定することができます。

プルダウンから、「IPv4」/「IPv6」を選択します。

アドレスfamily	(指定しない) ▼
	(指定しない)
	IPv4
	IPv6

インタフェース

「モード」で「インタフェース」を選択した場合に設定することができます。プルダウンから、インタフェースを選択します。

選択可能なインタフェースは、下記のとおりです。

「ethernet0」/「ethernet1」/「ethernet2」

「ppp0」/「ppp1」/「ppp2」/「ppp3」

インタフェース	指定しない ▼
	指定しない
	ethernet0
	ethernet1
	ethernet2
	ppp0
	ppp1
	ppp2
	ppp3
	ppp4

アドレス

「モード」で「アドレス」を選択した場合に入力することができます。

広告する本装置のIPv4アドレス、またはIPv6アドレスを指定します。

アドレス	<input type="text"/>
------	----------------------

ポート番号

「モード」で「インタフェース」、「アドレス」または「NAT」を選択した場合に入力することができます。

広告するポート番号を指定します。通常は22を指定してください。

ポート番号	<input type="text"/>
-------	----------------------

[secondary]

「モード」で「インタフェース」を選択した場合に設定することができます。

アドレス family

プルダウンから、「IPv4」/「IPv6」を選択します。

アドレスfamily	(指定しない) ▼
	(指定しない)
	IPv4
	IPv6

インタフェース

プルダウンから、インタフェースを選択します。

選択可能なインタフェースは、下記のとおりです。

「ethernet0」/「ethernet1」/「ethernet2」

「ppp0」/「ppp1」/「ppp2」/「ppp3」

インタフェース	指定しない ▼
	指定しない
	ethernet0
	ethernet1
	ethernet2
	ppp0
	ppp1
	ppp2
	ppp3
	ppp4

ポート番号

広告するポート番号を指定します。通常は22を指定してください。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

2. CRP クライアント

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

ユーザインタフェース

CRP

・CRPクライアント

Keepalive

CRP登録に成功してから、次にCRP登録を試行するまでの時間を指定します。デフォルト値は0で、CRP登録の再試行はしません。

CRPクライアント

number	アドレス	ポート番号	ユーザ名	Keepalive	編集	削除
(未設定)						

追加

Keepalive 0

「追加」をクリックします。

number

クライアントの設定番号を、プルダウンから選択します。1または2を指定してください。

number 1

アドレス

管理サーバのアドレスを設定します。「IPv4」 / 「IPv6」 / 「FQDN」形式で入力してください。

アドレス

ポート番号

ポート番号を設定します。1024-65535の数値を入力してください。デフォルト値は、10625です。

ポート番号 10625

ユーザ名

CRPのリクエストメッセージに使用するユーザIDを使用します。

ユーザ名

パスワード

認証に使用するパスワードを設定します。

パスワード

第 10 章

システム設定

本装置のパスワード

本装置の設定画面にログインする際のユーザ名、パスワードを変更します。
ルータ自身のセキュリティのためにパスワードを変更されることを推奨します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
システム設定

- ・本装置のパスワード

本装置のパスワード



旧パスワード

現在のパスワードを入力します。

新パスワード

半角英数字で1 から 15 文字まで設定可能です。
大文字・小文字も判別しますのでご注意ください。

新パスワード (確認用)

確認のため再度「新パスワード」を入力してください。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

本装置の操作を続行すると、ログイン用のダイアログ画面がポップしますので、新パスワードで再度ログインしてください。

ホスト名

本装置のホスト名を設定します。

ホスト名



設定を保存するには、「保存」をクリックします。

1. システムログ

システムログの設定をおこないます。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

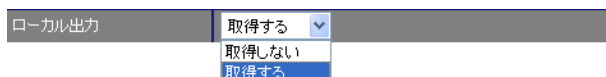
- システム設定
- ログ
 - ・システムログ

システムログ



ローカル出力

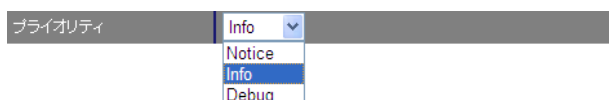
「取得する」「取得しない」をプルダウンから選択します。



装置本体に記録しておけるログの容量には制限があります。
 継続的にログを取得される場合は外部のsyslogサーバにログを送出するようにしてください。

マーカー

syslog が動作していることを表す「-- MARK --」ログを送出する間隔を指定します。
 0-99[分]の間で設定します。デフォルト値は20[分]です。



プライオリティ

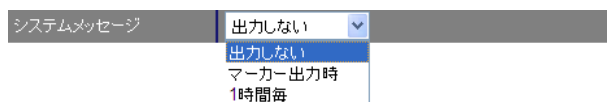
ログ内容の出力レベルをプルダウンから選択します。
 プライオリティの内容は以下のようになります。

- ・Debug : デバッグ時に有益な情報
- ・Info : システムからの情報
- ・Notice : システムからの通知

システムメッセージ

本装置のシステム情報を定期的に出力することができます。

「出力しない」/「マーカー出力時」/「1時間毎」をプルダウンから選択します。



[外部シスログサーバ]

外部シスログサーバ
 シスログサーバのIP アドレスを指定します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

2. ログメール

ログの内容を電子メールで送信したい場合の設定です。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定

ログ

・ログメール

ログメール

メール送信

「使用する」「使用しない」をプルダウンから選択します。

宛先メールアドレス

ログメッセージの送信先メールアドレスを指定します。最大文字数は64文字です。

送信元メールアドレス

送信元のメールアドレスは任意で指定できます。最大文字数は64文字です。

件名

任意で指定できます。使用可能な文字は半角英数字で、最大64文字です。

検出文字列

ここで指定した文字列が含まれるログをメールで送信します。文字列を指定しない場合はログメールは送信されません。

検索文字列の設定

検出文字列を設定するには、「表示」をクリックします。

続いて、「追加」をクリックします。

番号

1-32の間で指定します。

検索文字列

検出文字列には、pppd、IP、DNS などログ表示に使用される文字列を指定してください。なお、文字列の記述に正規表現は使用できません。文字列は、半角英数字で128文字まで指定できます。空白・大小文字も判別します。複数の文字(文字列)を指定すると、その文字(文字列)に完全一致したログのみ抽出して送信します。

設定を保存するには、「保存」をクリックします。

検索文字列の編集

「編集」をクリックします。

検索文字列の削除

「削除」をクリックします。

第10章 システム設定

設定情報

1. 設定の保存

設定の保存をおこないます。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定
設定情報
・設定の保存

設定の保存

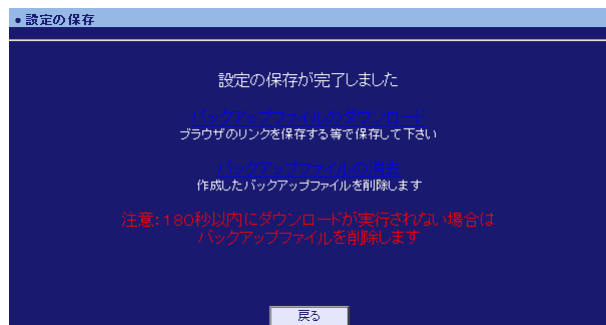


ファイル形式

プルダウンから「config設定(xml)」 / 「全ての設定 (tgz)」を選択します。



「実行」をクリックします。



バックアップファイルのダウンロードを右クリックして、バックアップファイルを保存して下さい。

作成したバックアップファイルを削除するには、バックアップファイルの消去をクリックします。

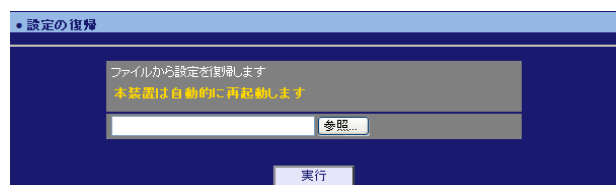
2. 設定の復帰

設定の復帰をおこないます。

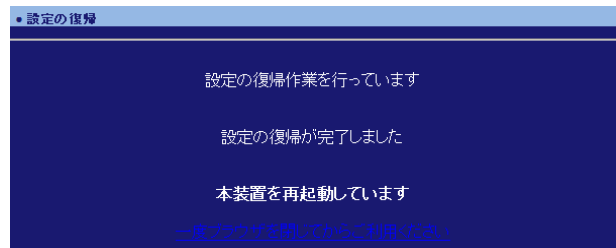
GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定
設定情報
・設定の復帰

設定の復帰



「参照」をクリックして、ファイルを指定します。「実行」をクリックすると、設定の復帰作業がおこなわれます。



設定の復帰が完了すると、本装置が自動的に再起動します。

3. 設定のリセット

設定をリセットします。

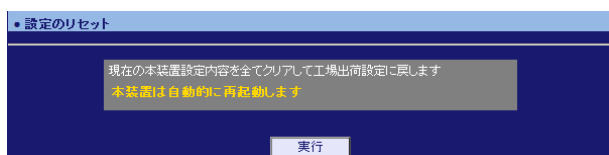
GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定

設定情報

・ 設定のリセット

設定のリセット



「実行」をクリックすると、現在の本装置設定内容を全てクリアして工場出荷設定に戻します。本装置は自動的に再起動します。

本装置の工場出荷設定状態時では、HTTP サーバが起動していないため、GUI アクセスは出来ません。HTTP サーバの起動方法については、「第4章 設定画面へのログイン」を参照してください。

第10章 システム設定

1. ファームウェア

1. アップデート

ファームウェアをアップデートします。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定

ファームウェア

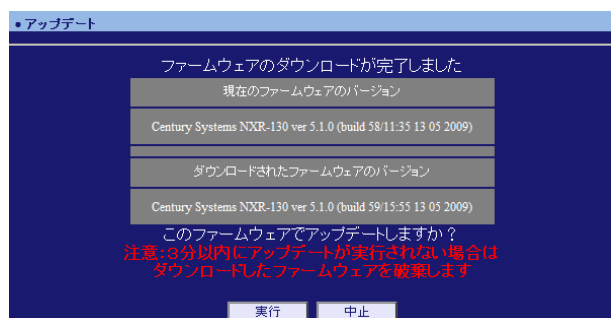
・アップデート

アップデート



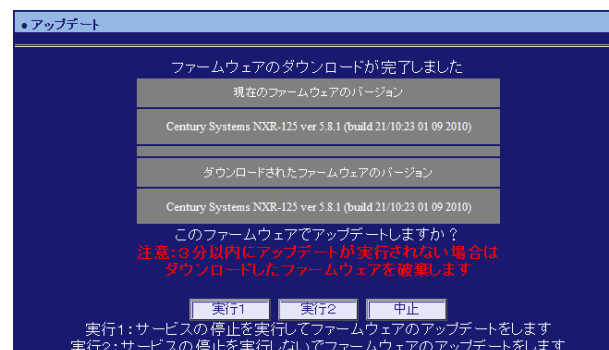
「参照」をクリックして、ファームウェアを指定します。「実行」をクリックすると、ファームウェアのアップデート画面が表示されます。

NXR-120 および NXR-130



「実行」をクリックすると、ファームウェアのアップデートを開始します。すべてのサービスおよびパケット処理を停止します。

NXR-125

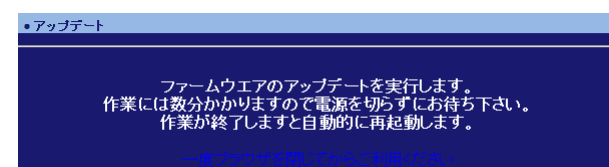


「実行1」をクリックすると、サービスの停止を実行してファームウェアのアップデートを開始します。すべてのサービスおよびパケット処理を停止します。

「実行2」をクリックすると、サービスの停止を実行しないでファームウェアのアップデートを開始します。ファームウェアアップデート中も、ルータとしての処理を行うことが出来ます。

NXR シリーズ共通

アップデートを開始すると、下記の画面が表示されます。



ファームウェアのアップデートが終了すると、本装置が自動的に再起動します。

ファームウェアアップデートの詳細については、ユーザーズガイド CLI 編を参照してください。

システム設定

内蔵時計

内蔵時計の設定をおこないます。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定

- ・内蔵時計

内蔵時計



24時間単位で時刻を入力してください。

「保存」をクリックすると、時刻が設定されます。

再起動

本装置またはサービスを再起動します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定

- ・再起動

再起動



プルダウンから、再起動するサービスを選択します。選択可能な項目は、「本装置」「DHCPサーバ」「DHCPリレー」「DNS」「WarpLink」「NTP」です。

「実行」をクリックすると、選択したサービスが再起動します。本装置を選択した場合は、本装置が再起動します。

セッション数

セッション最大数を設定します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

システム設定

・セッション数

セッション数



セッション数	
セッション最大数	32768
保存	

セッション最大数を、4096-32768の範囲で指定します。初期値は、4096です。

「保存」をクリックすると、指定した値が保存されます。

第 11 章

運用機能

1. Ping

指定した宛先に対して、本装置から Ping を実行します。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

運用機能

ネットワーク診断

・Ping

Ping

送信先

FQDN(www.xxx.co.jp などのドメイン名)、もしくは IP アドレスを入力します。

送信回数

送信する ping パケット数を指定します。
1-10 の範囲で指定します。デフォルト値は 10 です。

「送信先」および「送信回数」を指定して、「実行」をクリックします。

2. Traceroute

指定した宛先までに経由するルータ情報を表示します。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

運用機能

ネットワーク診断

・Traceroute

Traceroute

送信先

FQDN(www.xxx.co.jp などのドメイン名)、もしくは IP アドレスを入力します。

「送信先」を入力して、「実行」をクリックします。

．パケットダンプ

1. 実行

パケットのダンプを取得します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

運用機能

パケットダンプ

・実行

実行

インタフェース

ダンプを取得するインタフェースをプルダウンから選択します。

パケット数

キャプチャするパケット数を、1-1000の範囲で指定します。デフォルト値は10です。

880番ポートの通信

「ダンプする」/「ダンプしない」をプルダウンから選択します。

出力先

出力先をプルダウンから選択します。

「実行」をクリックします。

「出力先」として「画面」を選択した場合は、実行結果が画面に表示されます。

```

17:57:35.222759 IP 192.168.100.243 > 203.216.235.201: ICMP echo request, id 4846, seq 8
17:57:35.226655 IP 203.216.235.201 > 192.168.100.243: ICMP echo reply, id 4846, seq 8
17:57:36.222814 IP 192.168.100.243 > 203.216.235.201: ICMP echo request, id 4846, seq 9
17:57:36.225914 IP 203.216.235.201 > 192.168.100.243: ICMP echo reply, id 4846, seq 9
17:57:37.222873 IP 192.168.100.243 > 203.216.235.201: ICMP echo request, id 4846, seq 1
17:57:37.225158 IP 203.216.235.201 > 192.168.100.243: ICMP echo reply, id 4846, seq 1
17:57:38.222990 IP 192.168.100.243 > 203.216.235.201: ICMP echo request, id 4846, seq 1
17:57:38.227018 IP 203.216.235.201 > 192.168.100.243: ICMP echo reply, id 4846, seq 1
17:57:39.222988 IP 192.168.100.243 > 203.216.235.201: ICMP echo request, id 4846, seq 1
17:57:39.225314 IP 203.216.235.201 > 192.168.100.243: ICMP echo reply, id 4846, seq 1
    
```

1. パケットダンプ

2. 結果表示

「出力先」として「ファイル」を選択した場合は、「結果表示」からファイルを取得します。

GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

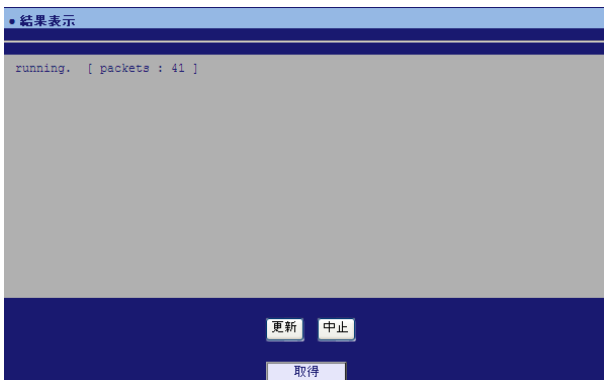
運用機能

パケットダンプ

・ 結果表示

結果表示

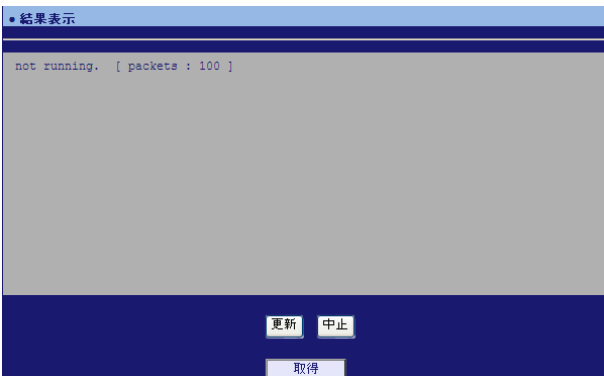
[パケットダンプ取得中の表示例]



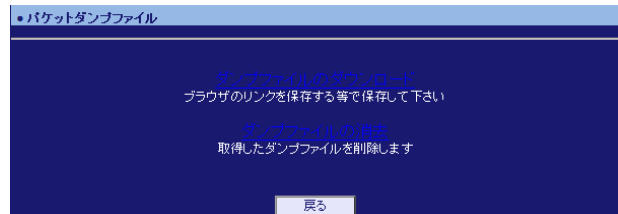
現在の状態を表示するには「更新」をクリックします。

パケットダンプを中止するには「中止」をクリックします。

[パケットダンプ取得終了の表示例]



ファイルを取得するには「取得」をクリックします。



ダンプファイルのダウンロードを右クリックして、ファイルを保存してください。

ダンプファイルの消去をクリックすると、取得したダンプファイルが削除されます。

1. システムログ

システムログを表示します。

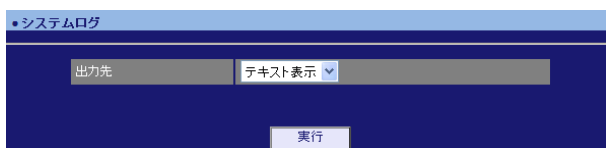
GUI 画面のメニューを下記の順にクリックします。

運用機能

ログ情報

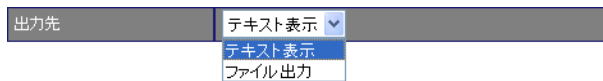
・システムログ

システムログ



出力先

システムログの出力先をプルダウンから選択します。



「実行」をクリックします。

システム情報

1. システム情報

システム情報を表示します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

運用機能

システム情報

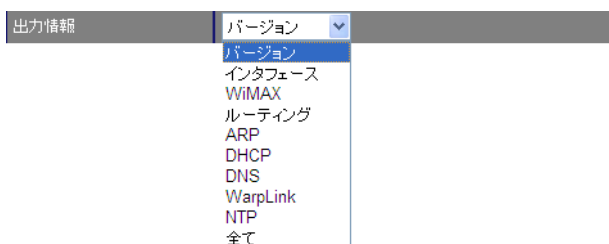
・システム情報

システム情報



出力情報

出力情報をプルダウンから選択します。



「実行」をクリックすると、選択した情報が表示されます。

2. システムモニター

システム情報をグラフで表示します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。

運用機能

システム情報

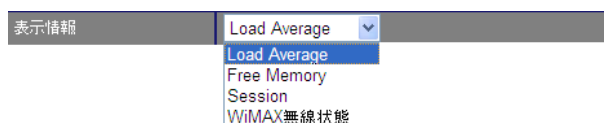
・システムモニター

システムモニター



表示情報

表示情報をプルダウンから選択します。



表示時間

表示時間を入力します。1-12[時間]の間で指定します。デフォルト値は、1[時間]です。



自動更新

「有効」 / 「無効」をプルダウンから選択します。



更新間隔

更新間隔を入力します。1-60[分]の間で指定します。デフォルト値は、「なし」です。



「実行」をクリックすると、選択した情報が表示されます。

第11章 運用機能

サポート情報

テクニカルサポート

テクニカルサポート情報の表示、または取得を行います。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
運用機能

システム情報

・テクニカルサポート

テクニカルサポート

• テクニカルサポート

出力先	テキスト表示 ▼
<input type="button" value="実行"/>	

出力先

出力先をプルダウンから選択して、実行をクリックします。

出力先	テキスト表示 ▼
	テキスト表示
	ファイル出力

「テキスト表示」を選択した場合は、テクニカルサポート情報が表示されます。

• テクニカルサポート

更新 戻る

```
#### NXR TECHNICAL SUPPORT INFORMATION ####
# Date
Wed Feb 5 13:57:59 JST 2014

# Firmware Version
Century Systems NXR-120 Series ver 5.24.1E (build 26/20:39 30 01 2014)

# Product Information
Vendor      : Century Systems Co., Ltd.
Product    : NXR-120
Firmware version : 5.24.1E
Serial number : 02380300780
Product URL  : http://www.centurysys.co.jp/support/nxr120c.html
Contact Century support
E-mail     : support@centurysys.co.jp
Tel       : 0422-37-8926
Fax       : 0422-55-3373
(Monday - Friday, 10:00am to 5:00pm)
```

「ファイル出力」を選択した場合は、下記の画面が表示されます。GUIの指示に従ってください。

ファイルのダウンロード

このファイルを開くか、または保存しますか？

名前: tech_support.txt
種類: テキストドキュメント
発信元: 192.168.0.254

インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピューターに問題を起すものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保存したりしないでください。[危険性の説明](#)

サポート情報

サポート情報を表示します。

GUI画面のメニューを下記の順にクリックします。
運用機能

・サポート情報

サポート情報

サポート情報が表示されます。

• サポート情報

- 製品サポートWEBページ
製品の最新ファームウェア、ユーザズガイド、FAQ等を公開いたしております。下記のリンクからご覧ください。
<http://www.centurysys.co.jp/support/nxr130c.html>
- サポートデスクにご連絡いただく場合
本装置の使用方法や、マニュアルの内容についてお問い合わせいただく場合は、[FutureNetサポートデスク](#)までご連絡下さい。また、機器の故障、不具合、製品へのご要望などについてもこちらをご利用下さい。

不具合などでサポートデスクにご連絡いただく場合は必要に応じて以下の情報をお知らせいただけると効率よく対応できますので、ご協力をお願いします。

- ◆ 装置の故障が発われる場合
本装置の電源が入らない、設定画面にアクセスできないといった場合は故障の可能性あります。以下の情報をご用意の上、サポートデスクまでご相談下さい。
 - 製品のシリアル番号もしくはMACアドレス
 - シリアル番号もしくはMACアドレスは、以下の場所でご確認いただけます。

- 製品添付の保証書
- 製品の個装箱に貼られているシール

付録

サポートについて

サポートについて

今後のお客様サポートおよび製品開発の参考にさせていただくために、ユーザー登録にご協力をお願い致します。弊社ホームページ内の各製品のサポートページで「ユーザー登録」をクリックすると登録用の画面が開きます。

サポートに関する技術的なお問い合わせやご質問は、下記へご連絡ください。

・サポートデスク

e-mail : support@centurysys.co.jp

電話 : 0422-37-8926

FAX : 0422-55-3373

受付時間 : 10:00 ~ 17:00 (土日祝祭日、および弊社の定める休日を除きます)

・ホームページ <http://www.centurysys.co.jp/>

故障と思われる場合は

製品の不良や故障と思われる場合でも、必ず事前に弊社までご連絡ください。

事前のご連絡なしに弊社までご送付いただきましてもサポートをお受けすることはできません。

ご連絡をいただく前に

スムーズなお客様サポートをご提供するために、サポートデスクにご連絡いただく場合は以下の内容をお知らせいただきますよう、お願いいたします。

- ・ファームウェアのバージョンとMACアドレス
- ・ネットワークの構成(図)
どのようなネットワークで運用されているかを、差し支えない範囲でお知らせください。
- ・不具合の内容または、不具合の再現手順
何をしたときにどのような問題が発生するのか、できるだけ具体的にお知らせください。
- ・エラーメッセージ
エラーメッセージが表示されている場合は、できるだけ正確にお知らせください。
- ・本装置の設定内容、およびコンピュータのIP設定
- ・可能であれば、「設定のバックアップファイル」をお送りください。

サポート情報

弊社ホームページにて、製品の最新ファームウェア、マニュアル、製品情報を掲載しています。

また製品のFAQも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

下記のFutureNetサポートページから、該当する製品名をクリックしてください。

<http://www.centurysys.co.jp/support/>

製品の保証について

本製品の保証期間は、ご購入から販売終了後5年間までです。

(但し、ACアダプタ及び添付品の保証期間はご購入から1年間とします。)

保証期間内でも、保証書に販売店印のないもの(弊社より直接販売したものは除く)、また保証の範囲外の故障については有償修理となりますのでご了承ください。

保証規定については、同梱の保証書をご覧ください。

FutureNet NXRシリーズ ユーザーズガイド GUI編 Ver.5.24.1E対応版

2014年02月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

Copyright (c) 2009-2014 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.
